

平成19年度

# 保健福祉事務所年報

(平成20年度版)



(七里御浜 「泳げ！鯉のぼりくん」)

## 三重県熊野保健福祉事務所

〒519-4324 熊野市井戸町383番地

TEL 0597-85-2158(代表)

FAX 0597-85-3914

<http://www.pref.mie.jp/KHOKEN/HP/>

# 目 次

## 管内概況

1 保健福祉事務所（保健所）の沿革	……	1
2 保健福祉事務所の位置図及び平面図	……	3
3 保健福祉事務所の組織と業務概要	……	4
4 健康相談等の日程	……	5
5 人口動態統計	……	6

## 三重県総合計画

県民しあわせプラン戦略計画における事業実績

### 第1節 一人ひとりの思いを支える社会環境の創造と人づくり

1-1 一人ひとりが尊重され、誰もが参画できる社会の実現

112 男女共同参画社会の実現

11204 心身の健康支援と性別に基づく暴力等への取組

1 女性相談 …… 13

### 第3節 安全なくらしの確保と安心できる生活環境の創造

3-1 災害に強い県土づくりの推進

311 防災対策の推進

31106 災害時医療体制の整備・被災者対策の推進

1 激甚災害時医薬品等備蓄・供給体制整備事業 …… 14

2 激甚災害時毒物劇物保有状況調査 …… 14

3-2 安全な生活の確保

324 食の安全とくらしの衛生の確保

32401 食の安全・安心の確保

1 食品衛生 …… 15

32402 生活衛生営業の衛生水準の確保

1 環境衛生 …… 17

32403 医薬品等の安全確保

1 薬事 …… 18

2 献血推進 …… 19

32404 薬物乱用防止対策の充実

1 不正大麻・けし対策 …… 20

2 薬物乱用防止対策 …… 20

32405 人と動物との共生環境づくりの推進

1 狂犬病予防 …… 21

2 動物愛護 …… 22

325	感染症対策の推進		
32502	感染症予防および治療体制の充実		
1	感染症予防事業	.....	23
2	結核予防事業	.....	24
3-3	健やかな暮らしを育むささえあい社会の構築		
331	健康づくりの推進		
33101	健康づくり活動の推進		
1	健康づくりの総合推進事業	.....	28
2	紀南健康長寿リーディングエリア形成事業	.....	29
33102	食環境の整備		
1	朝食欠食幼児ゼロ推進事業	.....	30
2	食事バランスガイド地域協働啓発事業	.....	32
3	給食施設強化事業	.....	34
4	人材育成・支援事業	.....	35
33103	こころの健康づくりの推進		
1	こころの健康づくりの推進	.....	36
332	子育て環境の整備		
33201	保育・放課後児童対策等の充実		
1	保育所	.....	37
2	子育て支援	.....	37
3	管内の児童福祉施設（保育所を除く）の状況	.....	37
33203	母子保健対策の推進		
1	母子医療給付事業	.....	38
2	健やか親子支援事業	.....	39
3	母体保護事業	.....	41
33205	児童と一人親家庭の自立支援		
1	母子寡婦福祉	.....	42
333	地域とともに進める福祉社会づくり		
33301	地域福祉活動の推進		
1	地域福祉	.....	43
2	ボランティア活動	.....	44
3	民生委員児童委員活動	.....	44
33302	ユニバーサルデザインのまちづくりの総合啓発		
1	ユニバーサルデザインのまちづくり	.....	45
3-4	安心を支える医療・福祉の推進		
341	医療提供体制の整備		
34101	患者本位の医療の推進		
1	医務	.....	46

34103	救急・へき地医療体制の整備		
1	地域救急医療対策事業	.....	48
34105	骨髄バンク、臓器移植等の推進		
1	骨髄バンク	.....	50
34106	難病患者等の支援		
1	原子爆弾被爆者対策事業	.....	51
2	難病対策事業	.....	52
3	難病在宅ケア事業	.....	53
34107	医療分野の人材確保		
1	保健師活動状況	.....	56
2	看護学生等保健所実習指導	.....	56
3	1日看護体験	.....	56
342	生活保障の確保		
34201	公的扶助の適正な運用		
1	生活保護	.....	57
343	高齢者保健福祉の推進		
34301	介護保険制度の円滑な推進		
1	介護保険制度	.....	60
34302	介護基盤の整備促進とサービスの質の向上		
1	老人福祉施設の状況	.....	62
344	障がい者保健福祉の推進		
34401	障害者自立支援法制度の円滑な推進		
1	障害者福祉	.....	64
34404	精神障がい者の保健医療の確保		
1	精神保健福祉事業	.....	66
2	市町職員等関係職員への支援	.....	68

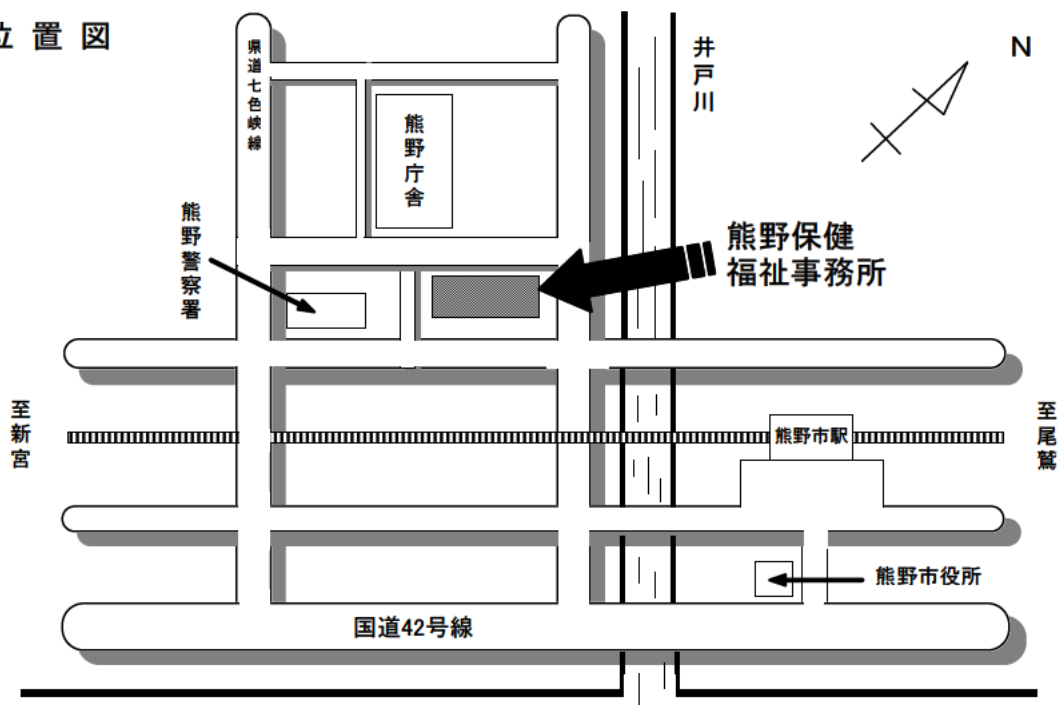
# 1 熊野保健福祉事務所（保健所）の沿革

- 昭和 19 年 11 月 南牟婁郡（21ヶ町村）を管轄区域とする  
三重県木本保健所が木本町 1538 番地に開設
- 昭和 22 年 5 月 警察衛生事務の保健所移管にともない、木本及び鵜殿両警察署より関係事務の引継ぎ完了
- 昭和 23 年 11 月 保健所に課制が施行され、総務、衛生、保健予防課、保健婦室の 3 課 1 室設置
- 昭和 25 年 6 月 南牟婁郡木本町赤坂 695-14（借地）及び有井村大字井戸 794-3 に庁舎新築
- 昭和 29 年 6 月 管内北輪内村、南輪内村が尾鷲市に合併、尾鷲保健所管轄区域となる
- 昭和 29 年 11 月 庁訓第 702 号により名称を熊野保健所と改称
- 昭和 35 年 8 月 次長制実施
- 昭和 45 年 2 月 熊野市井戸町井土 383（井戸町右岸）において新庁舎建設工事着工
- 昭和 45 年 8 月 新庁舎竣工
- 昭和 45 年 9 月 新庁舎移転完了、業務開始
- 昭和 49 年 8 月 冷暖房設備完了
- 昭和 50 年 11 月 犬処理場増築、庁舎前庭整備
- 昭和 51 年 4 月 機構改革により環境課新設  
衛生課を衛生指導課に改称
- 平成 5 年 4 月 保健婦室を保健指導課に改称
- 平成 7 年 4 月 身体障害者用便所及び玄関の自動ドア並びにスロープの設置
- 平成 9 年 4 月 機構改革により、保健予防課、保健指導課を廃し、企画調整課、地域保健課を新設  
庁舎内に「紀南健康長寿推進協議会」事務局が設置される（3 名体制）
- 平成 10 年 4 月 機構改革により、熊野保健所、紀南福祉事務所及び児童相談業務の組織の統合がなされ、紀南県民局保健福祉部として発足する。従来の課制がグループ制に改正され、4 グループが組織される。〔企画総務 G、健康増進 G、福祉保健 G、衛生検査 G〕
- 平成 13 年 4 月 健康診断、検査業務の廃止、衛生検査グループを衛生指導グループに改称
- 平成 14 年 4 月 チーム制の導入により、紀南保健福祉部に福祉相談チーム〔経営支援 G、生活支援 G、子育て支援 G〕、保健衛生チーム〔計画調整 G、健康増進 G、衛生指導 G〕を設置し、部長、チームマネージャー、グループリーダーを置く。（保健衛生チームマネージャーは保健所長を兼務する）
- 平成 15 年 4 月 グループの統合・改称により福祉相談チーム〔経営企画 G、生活・子育て支援 G〕、保健衛生チーム〔健康増進 G、衛生指導 G〕が組織される。
- 平成 16 年 4 月 室制の導入により、福祉相談室〔経営企画 G、生活・子育て支援 G〕、保健衛生室〔健康増進 G、衛生指導 G〕を設置。
- 平成 17 年 4 月 保健と福祉の事務機能の純化及び児童相談所のセンター化により、福祉相談室が企画福祉室〔企画市町村支援 G、福祉 G〕に改称し、精神、特定疾患業務が保健衛生室に移行、児童相談業務が分離され、紀州児童相談所駐在を設置。

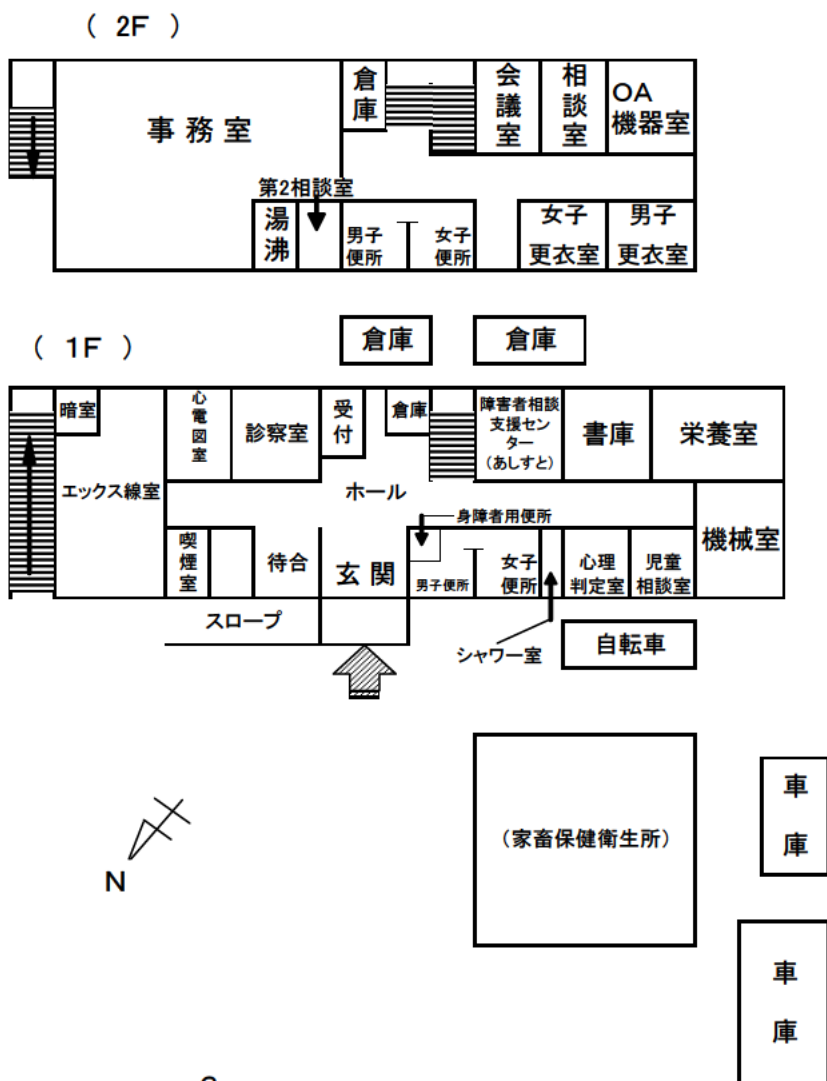
- 平成 18 年 4 月 機構改革により、県民局が廃止され、熊野保健福祉事務所として単独地域機関となる。
- 福祉相談室〔企画課、福祉課〕と保健衛生室〔健康増進課、衛生指導課〕の組織となり、紀南健康長寿推進協議会事務局の庁舎内設置は継続。
- 紀州児童相談所駐在の廃止。
- 平成 20 年 4 月 「紀南健康長寿推進協議会」事務局の庁舎内設置の廃止。

## 2 保健福祉事務所の位置図及び平面図

### (1) 位置図



### (2) 平面図



### 3 熊野保健福祉事務所の組織と業務概要

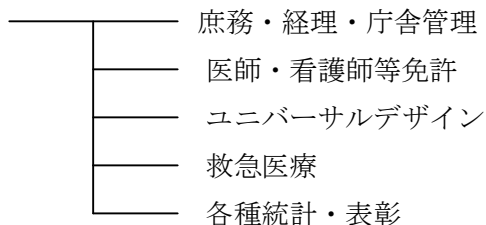
[平成20年度体制]

#### (1) 職員組織及び事務分掌 所長兼福祉事務所長

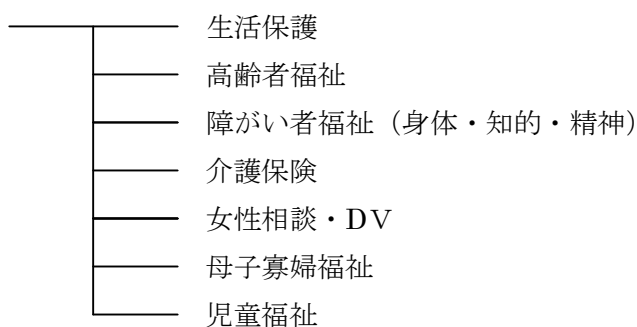
##### 福祉相談室

###### ◎福祉相談室長

- 企画課  
(3名)



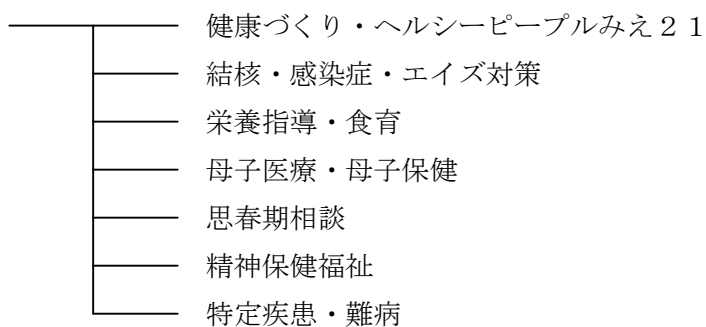
- 福祉課  
(4名)



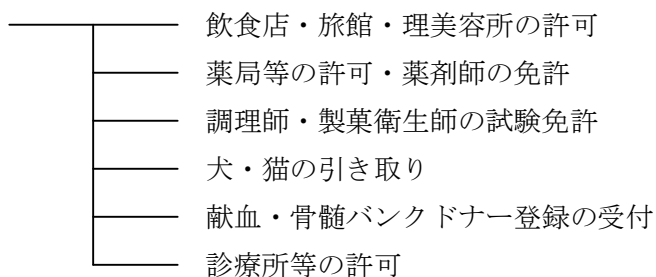
##### 保健衛生室

###### ◎保健衛生室長

- 健康増進課  
(6名)



- 衛生指導課  
(4名)



#### (2) 職種別職員数

(医師1名)、獣医師2名、薬剤師2名、管理栄養士1名、  
診療エックス線技師1名、保健師4名、一般事務職10名



#### 4 健康相談等の日程

平成20年4月1日現在

項 目	実 施 日	受 付 時 間	内 容
精神保健福祉相談	毎月第4水曜日	午後1:00～午後5:00	精神障害 認知症の相談
デ イ ケ ア	毎月第1火曜日	午前9:30～午後2:30	精神障害者の社会復帰 促進
エイズ	抗体検査	毎月第2・4火曜日 原則予約制です。	採血
	相 談	毎週月～金曜日	午前8:30～午後5:00 相談
骨 髄 バ ン ク 登 録 受 付	毎週火曜日	予約が必要です。	登録手続 採血
覚せい剤等相談	毎週月～金曜日	午前8:30～午後5:00	相談、啓発資材貸出し
<ul style="list-style-type: none"> <li>・予約はお電話でお願いいたします。</li> <li>・エイズ検査は無料、匿名で受けられますが、証明書（有料）が必要な方は実名での検査となります。</li> <li>・祝日などの関係で日程等が変更になる場合がありますので、ご注意ください。</li> </ul>			

## 5 人口動態統計

### (1) 市町人口・世帯数・面積

平成19年10月1日現在

市 町	世 帯 数	人 口			面 積 (k m <sup>2</sup> )	人口密度 (人/k m <sup>2</sup> )
		総 数	男	女		
管 内	18,528	42,563	19,919	22,644	541.57	78.6
熊 野 市	9,202	20,525	9,652	10,873	373.63	54.9
御 浜 町	4,132	9,693	4,509	5,184	88.28	109.8
紀 宝 町	5,194	12,345	5,758	6,587	79.66	155.0
三 重 県	699,272	1,869,307	910,282	959,025	5777.17	323.6

推計人口（月別人口調査結果：三重県）

### (2) 人口の年齢構成割合と諸指標

平成19年10月1日現在

市 町	年齢階級別割合 (%)			年少人口指数	老年人口指数	従属人口指数	老年化指数
	0～14才	15～64才	65歳以上				
管 内	12.6	56.6	32.3	22.2	57.2	79.4	256.9
熊 野 市	11.2	53.7	35.1	20.8	65.4	86.2	313.9
御 浜 町	13.3	53.8	32.9	24.7	61.1	85.8	247.5
紀 宝 町	14.4	58.3	27.3	24.7	46.9	71.6	190.0
三 重 県	14.0	63.4	22.5	22.1	35.6	57.6	161.4

推計人口（月別人口調査結果：三重県）

(注)

$$\text{年少人口指数} = \frac{\text{年少（15才未満）人口}}{\text{生産年齢（15～64才）人口}} \times 100 \quad \text{従属人口指数} = \frac{\text{年少+老年人口}}{\text{生産年齢人口}} \times 100$$

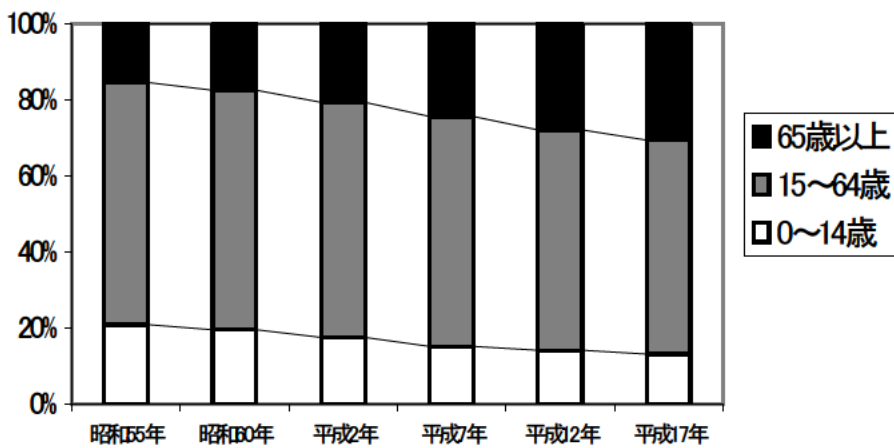
$$\text{老年人口指数} = \frac{\text{老年（65才以上）人口}}{\text{生産年齢人口}} \times 100 \quad \text{老年化指数} = \frac{\text{老年人口}}{\text{年少人口}} \times 100$$

平成8年に熊野保健所管内の老年人口割合が25%を超え、増加傾向がつづいて平成16年から30%を超えている。

〔年齢構成割合の年次推移〕

	0～14歳	15～64歳	65歳以上
昭和55年	20.9	63.6	15.5
60年	19.5	63.0	17.5
平成2年	17.5	62.0	20.6
7年	15.1	60.6	24.3
12年	14.2	57.8	28.0
17年	13.0	56.3	30.4

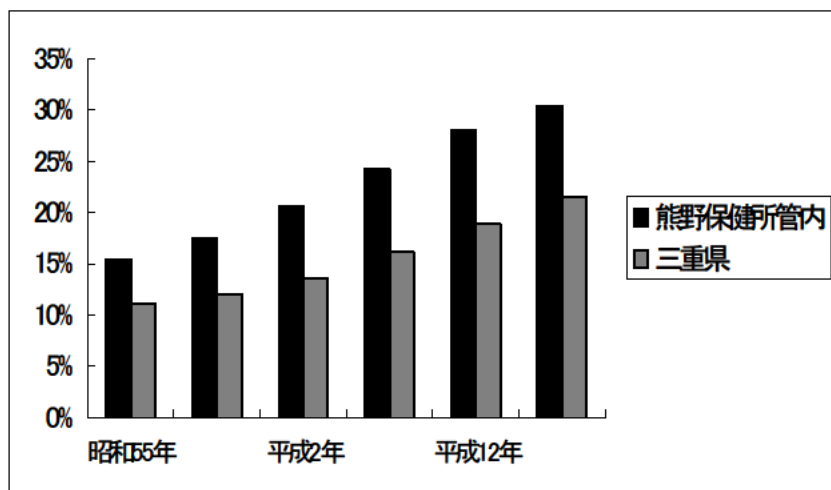
熊野保健所管内では老年人口割合が増え、年少人口割合が減少している。



〔老年人口割合の三重県との比較〕

	熊野保健所管内 65歳以上	三重県 65歳以上
昭和55年	15.5	11.1
60年	17.5	12.1
平成2年	20.6	13.6
7年	24.3	16.1
12年	28.0	18.9
17年	30.4	21.5

熊野保健所管内の老年人口割合は平成16年に30%を超え、三重県との差は年々開いている。



### (3) 年次別人口動態件数および率の推移

年	人口	老年化指数	出生		死亡		乳児死亡		死産		婚姻		離婚	
			実数	率	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率
10	46,102	180.9	397	8.6	548	11.9	4	10.1	12	29.3	202	4.4	55	1.2
11	45,954	188.4	365	7.9	504	11.0	3	8.2	10	26.7	209	4.5	57	1.2
12	45,493	185.6	344	7.6	569	12.5	1	2.9	16	44.4	198	4.4	87	1.9
13	45,117	205.0	379	8.4	563	12.5	1	2.6	10	25.7	213	4.7	99	2.2
14	45,047	211.0	360	8.0	525	11.7	0	0	3	8.3	168	3.7	95	2.1
15	44,714	216.5	313	7.0	582	13.0	1	3.2	10	31.0	162	3.6	94	2.1
16	44,301	225.7	302	6.8	584	13.2	0	0	6	19.5	179	4.0	93	2.1
17	43,781	232.4	305	7.0	556	12.7	0	0	5	16.1	173	4.0	98	2.2
18	43,303	244.4	289	6.6	580	13.3	1	3.3	11	36.6	177	4.0	87	2.0
19	42,563	256.9	296	7.0	603	14.2	0	0	0	0	171	4.0	74	1.7

人口動態調査結果 平成19年確定数

(注) 出生、死亡、婚姻、離婚率は人口1,000対 乳児死亡率は出生1,000対 死産率は出生1,000対  
平成18年に比べ平成19年は出生数が7名増加、死亡数が23増加した。

$$\text{老年化指数} = \frac{\text{老年人口}}{\text{年少人口}} \times 100$$

### (4) 市町別人口動態件数及び率

平成19年1月1日～平成19年12月31日確定数

市町	出生				低体重児(再)	死亡			
	総数	男	女	率		総数	総数	男	女
管内	296	157	139	7.0	22	603	310	293	14.2
熊野市	134	70	64	6.5	11	310	160	150	15.1
御浜町	66	32	34	6.8	4	146	73	73	15.1
紀宝町	96	55	41	7.8	7	147	77	70	11.9
三重県	15,716	8,038	7,678	8.4	1,449	17,141	8,892	8,249	9.2

人口動態調査結果

(注) 出生、死亡率は人口1,000対  
出生率は減少し、死亡率は増加となっている。

平成19年1月1日～平成19年12月31日確定数

市 町	乳 児 死 亡				新生児死亡（再掲）				死 産		周産期死亡（再掲）			
	総数	男	女	率	総数	男	女	率	総数	率	総数	満22週以後の死産	早期新生児死亡	率
管 内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊野市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
御浜町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
紀宝町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	59	31	28	3.8	26	14	12	1.7	363	22.6	70	54	16	4.4

（注）乳児死亡率は生後1年未満の死亡、新生児死亡は生後4週未満の死亡、早期新生児死亡は生後1週間未満の死亡、周産期死亡は妊娠22週以後の死産と早期新生児死亡をあわせたもの。

乳児死亡、新生児死亡、早期新生児死亡率は出生1,000対、死産率は出産1,000対、周産期死亡率・妊娠満22週以後の死産率は出産（出生＋妊娠22週以後の死産）1,000対

※出産数＝出生数＋死産数

平成19年1月1日～平成19年12月31日確定数

市 町	婚 姻		離 婚		自 然 増 加		合計特殊出生率 (H18)
	総数	率	総数	率	総数	率	
管 内	171	4.0	74	1.7	-307	-7.2	1.61
熊 野 市	78	3.8	31	1.5	-176	-8.6	1.66
御 浜 町	31	3.2	18	1.9	-80	-8.3	1.65
紀 宝 町	62	5.0	25	2.0	-51	-4.1	1.50
三 重 県	9,919	5.3	3,377	1.8	-1,425	-0.8	1.36

（注）婚姻、離婚率は人口1,000対

自然増加数＝年間出生数－年間死亡数

自然増加率＝ $\frac{\text{自然増加数}}{\text{10月1日現在の人口}} \times 1,000$

合計特殊出生率は女子の年齢別出生率の合計で1人の女子がその年次の年齢別出生率で一生の間に生む平均こども数をあらわす。

(5) 市町別・性別・出生体重

平成18年1月1日～平成18年12月31日確定数(単：人)

市町村別	総数	性別		1000g未満		1000～1499g		1500～1999g		2000～2499g		2500～2999g		3000～3499g		3500～3999g		4000～4499g		4500g以上		不祥		2500g未満	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
		総数	289	143	146	—	1	—	—	1	—	9	9	44	52	73	71	16	12	—	—	—	1	—	—
熊野市	130	64	66	—	1	—	—	—	—	5	5	12	25	38	25	9	9	—	—	—	1	—	—	5	6
御浜町	65	34	31	—	—	—	—	1	—	—	—	12	12	16	19	5	—	—	—	—	—	—	—	1	—
紀宝町	94	45	49	—	—	—	—	—	—	4	4	20	15	19	27	2	3	—	—	—	—	—	—	4	4

(6) 母の年齢別・出生順位別・出生数

平成18年1月1日～平成18年12月31日確定数(単：人)  
(管内の件数でなく、三重県の件数)

	総数	第1子	第2子	第3子	第4子	第5子以上
総数	15,816	7,402	6,137	1,882	308	87
15歳未満	—	—	—	—	—	—
15～19歳	259	228	29	2	—	—
20～24歳	2003	1,357	567	72	7	—
25～29歳	5052	2,841	1,791	374	42	4
30～34歳	6134	2,273	2,801	919	112	29
35～39歳	2128	634	882	456	120	36
40歳以上	240	69	67	59	27	18
不詳	—	—	—	—	—	—



## (7) 特定死因順位-市町別死亡数・率(人口10万対)、割合(%)

平成18年1月1日～平成18年12月31日確定数

死因	管内総数				熊野市				御浜町				紀宝町			
	順位	死亡者数	死亡率	総死亡に対する割合	順位	死亡者数	死亡率	総死亡に対する割合	順位	死亡者数	死亡率	総死亡に対する割合	順位	死亡者数	死亡率	総死亡に対する割合
総数		580	1362.7	100%		314	1529.8	100%		135	1392.8	100%		131	1061.2	100%
結核		0	0.0	0.0%		0	0.0	0.0%		0	0.0	0.0%		0	0.0	0.0%
悪性新生物	1	142	333.6	24.5%	1	75	365.4	23.9%	1	35	361.1	25.9%	1	32	259.2	24.4%
糖尿病		10	23.5	1.7%		4	19.5	1.3%		2	20.6	1.5%	5	4	32.4	3.1%
高血圧性疾患		1	2.3	0.2%		0	0.0	0.0%		0	0.0	0.0%		1	8.1	0.8%
心疾患(高血圧症を除く)	2	88	206.8	15.2%	2	43	209.5	13.7%	2	21	216.7	15.6%	2	24	194.4	18.3%
脳血管疾患	3	79	185.6	13.6%	3	40	194.9	12.7%	3	19	196.0	14.1%	3	20	162.0	15.3%
大動脈瘤及び解離		2	4.7	0.3%		1	4.9	0.3%		0	0.0	0.0%		1	8.1	0.8%
肺炎	4	44	103.4	7.6%	4	25	121.8	8.0%	4	8	82.5	5.9%	4	11	89.1	8.4%
慢性閉塞性肺疾患		5	11.7	0.9%		2	9.7	0.6%		0	0.0	0.0%		3	24.3	2.3%
喘息		1	2.3	0.2%		0	0.0	0.0%		1	10.3	0.7%		0	0.0	0.0%
肝疾患		8	18.8	1.4%		4	19.5	1.3%		1	10.3	0.7%		3	24.3	2.3%
腎不全		13	30.5	2.2%		8	39.0	2.5%		5	51.6	3.7%		0	0.0	0.0%
老衰	5	31	72.8	5.3%	5	22	107.2	7.0%		5	51.6	3.7%	5	4	32.4	3.1%
不慮の事故		22	51.7	3.8%		14	68.2	4.5%	5	6	61.9	4.4%		2	16.2	1.5%
自殺		12	28.2	2.1%		9	43.8	2.9%		1	10.3	0.7%		2	16.2	1.5%
その他		122	286.6	21.0%		67	326.4	21.3%		31	319.8	23.0%		24	194.4	18.3%

## (8) 市町別悪性新生物部位別死亡者数

平成 18 年 1 月 1 日～平成 18 年 12 月 31 日確定数

	管内		熊野市		御浜町		紀宝町	
	男	女	男	女	男	女	男	女
総数	99	43	51	24	22	13	26	6
口唇、口腔及び咽頭	2	-	-	-	-	-	2	-
食道	5	-	4	-	1	-	-	-
胃	14	7	8	-	4	4	2	3
結腸	6	2	4	-	1	2	1	-
直腸、直腸S状結腸移行部	3	1	1	1	-	-	2	-
肝及び肝内胆管	11	1	7	1	3	-	1	-
肝のう、その他の胆道	6	4	3	1	2	3	1	-
膵	10	4	4	4	4	-	2	-
咽頭	2	-	2	-	-	-	-	-
気管・気管支及び肺	15	9	6	7	3	-	6	2
皮膚	2	-	1	-	1	-	-	-
乳房	1	2	1	1	-	1	-	-
子宮	-	-	-	-	-	-	-	-
卵巣	-	1	-	-	-	1	-	-
前立腺	8	-	4	-	-	-	4	-
膀胱	2	-	1	-	1	-	-	-
中枢神経系	-	1	-	1	-	-	-	-
悪性リンパ腫	3	-	2	-	-	-	1	-
白血病	1	-	-	-	1	-	-	-
その他のリンパ組織、造血組織	1	2	-	2	-	-	1	-
その他	7	9	3	6	1	2	3	1



## 第1節 一人ひとりの思いを支える社会環境の創造と人づくり

### 1-1 一人ひとりが尊重され、誰もが参画できる社会の実現

#### 112 男女共同参画社会の実現

##### 11204 心身の健康支援と性別に基づく暴力等への取組

(主担当:福祉相談室 福祉課)

<b>取組内容</b>
-------------

1. 女性相談員を配置し、ドメスティック・バイオレンス(DV)に関する相談体制を強化します。

#### 1 女性相談

他の土地で結婚し、暴力等で夫婦関係が壊れ、この地域に戻ってくるというケースや他地域から転入してきたケースが多い。このところ減少傾向にあるが、血縁地縁等で整理されていると思われるものの問題が整理しきれていないケースが目立つ。

また、高齢者間でのDVが目立ち、市町その他施策の活用が必要になってきている。

平成19年度紀南地域女性相談状況表

		熊野市	御浜町	紀宝町	不明	計
夫等 関係	夫等の暴力	1	0	2	1	4
	離婚問題	0	0	1	0	1
	その他	3	1	0	1	5
子供関係		0	0	0	0	0
男女問題		0	0	0	0	0
経済関係		0	0	0	0	0
医療関係		0	0	0	0	0
住居問題		1	0	0	0	1
計		5	1	3	2	11

実人員 11件 (内DVに関わるもの 10件)

延べ件数 25件 (内DVに関わるもの 24件)

## 第3節 安全なくらしの確保と安心できる生活環境の創造

### 3-1 災害に強い県土づくりの推進

#### 311 防災対策の推進

##### 31106 災害医療体制の整備・被災者対策の推進

(主担当:保健衛生室 衛生指導課)

#### 取組内容

1. 災害用医薬品の備蓄・供給体制を確保します。
2. 毒物・劇物を保有している施設等を把握し、激甚災害時における毒物劇物による危害発生を防止します。

#### 1 激甚災害時医薬品等備蓄・供給体制整備事業

##### (1) 医薬品等の備蓄事業

紀南地域において発災時に必要な医薬品を速やかに供給できるよう、当所に外科系医薬品及び衛生材料を備蓄しました。

医薬品	27薬効	42品目
衛生材料	13分類	41品目

内科系救急医薬品は災害拠点薬局を指定し、備蓄しました。

熊野地域災害拠点薬局	:	ナカニシ薬局
医薬品	27薬効	40品目

##### (2) 県域を越えた協力体制の整備

\* 紀伊半島三県災害時相互応援に関する協定に基づく医薬品等供給実施細目  
激甚災害により主要幹線道路が寸断されると、この地域への医薬品等の供給が迅速に進まなくなるおそれがあります。そこで、近隣県と協定を結び、災害時の相互応援について協議しました。

#### 2 激甚災害時毒物劇物保有状況調査

毒物劇物販売業、業務上取扱者等を対象に保有している毒物劇物や中和剤、治療薬等の調査を行い、災害時の危害発生防止に役立てます。

平成18年度調査	53事業所
----------	-------

### 3-2 安全な生活の確保

#### 324 食の安全とくらしの衛生の確保

##### 32401 食の安全・安心の確保

(主担当:保健衛生室 衛生指導課)

###### 取組内容

1. 食品の製造、流通および販売にいたるまでの衛生、規格等について監視、指導、検査を実施することにより、食生活の安全確保に努めます。

#### 1 食品衛生

食品監視指導に関する基本方針に基づき、年間を通じて計画的な監視と食品の収去検査を実施しました。

食品取扱者及び消費者に対して衛生講習を行うなど、食品衛生思想の普及啓発に努めるとともに、営業者の自主衛生管理を推進し、食中毒の予防に努めました。

##### (1) 食品関係営業施設数

(平成19年度末現在)

区分	業種	施設数	監視指導施設数
許	飲食店営業	547	317
	菓子製造業	54	44
	乳処理業	0	0
	乳製品製造業	0	0
	魚介類販売業	139	72
	魚介類せり売り業	3	3
	魚肉ねり製品製造業	1	5
	食品の冷凍冷蔵業	1	0
	びん詰かん詰製造業	3	3
	喫茶店営業	62	16
	アイスクリーム類製造業	14	8
	乳類販売業	117	75
	食肉処理業	10	13
	食肉販売業	98	64
可	食肉製品製造業	0	0
	みそ製造業	9	3
	しょうゆ製造業	1	0
	豆腐製造業	7	4
	めん類製造業	1	1
	そうざい製造業	16	14
	清涼飲料水製造業	4	7
	氷雪製造業	1	0
	氷雪販売業	4	1
	小計	1,092	650
届出	集団給食施設	77	24
	食品製造業	109	32
	小計	186	56
合計		1,278	706



##### (2) ランク別監視状況

各業種毎に、過去の食中毒の発生頻度や、製造・販売される食品の広域性、営業の形態などを考慮して監視の重要度をランク分けし、このランク毎に監視頻度を設定して立入検査を実施しました。

(平成19年度)

区分		監視実績
Aランク 2回以上/年	対象施設	4
	監視件数	8
	監視率	100.0%
Bランク 1回以上/年	対象施設	66
	監視件数	71
	監視率	107.6%
Cランク 1回以上/2年	対象施設	696
	監視件数	335
	監視率	96.3%
Dランク 1回以上/3年	対象施設	525
	監視件数	293
	監視率	167.4%
計	対象施設	1291
	監視件数	707
	監視率	125.8%

\*対象施設は平成19年度当初の施設数

### (3) 食品収去検査結果

平成19年度

品目	検体	収去検体数	不良検体数	不良検体数	
				理化学検査	細菌学検査
乳及びその加工品		0	0	0	
肉・卵及びその加工品		7	0	0	
魚介類及びその加工品		14	0	0	
青果穀類及びその加工品		16	0	0	
菓子類		26	4	4	
その他の食品		49	5	5	
合計		112	9	9	

### 農畜産物の残留農薬等検査実績（再掲）

品目	検査項目	収去検体数	不良検体数
大豆	遺伝子組換え	1	0
養殖魚	合成抗菌剤、OTC 抗生物質	1	0
鶏肉	抗生物質、 合成抗菌剤	2	0
柑橘類	残留農薬	3	0



### (4) 食品衛生月間における街頭啓発の実施

実施日：平成19年8月7日

場所：ジャスコ熊野店（熊野市井戸町）

内容：パンフレット等啓発資材の配布、ATP検査で手の汚れ具合を測定

### (5) 食品衛生講習会の開催状況

食品関係営業者、給食調理員等を対象に食品衛生講習会を開催。  
また、児童を対象に「子供食品衛生教室」を開催

平成19年度	開催回数	受講者数
	33	657

### (6) 食中毒の発生

なし

### (7) 調理師試験合格者数

	出願者	受験者	合格者	合格率
平成19年度	33	29	25	86.2%

## 32402 生活衛生営業の衛生水準の確保

(主担当:保健衛生室 衛生指導課)

### 取組内容

1. 理容所、美容所、クリーニング所、旅館等の生活衛生関係事業者に対し衛生指導を行い、衛生水準の向上と自主管理体制の整備に努めます。
2. 理容・美容所等の立入調査や旅館の監視指導を行っていきます。

#### (1) 環境衛生関係営業施設数及び届出状況

平成19年度

業種 \ 区分	熊野市	御浜町	紀宝町	合計	新規	廃止
理容所	43	19	16	78	1	2
美容所	61	20	25	106	2	4
クリーニング所	19	7	9	35	1	2
公衆浴場	9	1	1	11	1	3
興行場	1	0	0	1	0	0
旅館業	80	6	6	92	1	1
合計	213	53	57	323	6	11

#### (2) 監視指導状況(平成19年度)

循環式浴場におけるレジオネラ感染症予防のため、公衆浴場の監視指導を重点的に行いました。

業種 \ 区分	対象施設数	監視施設数	監視率
理容所	78	12	15.4%
美容所	106	16	15.1%
クリーニング所	35	16	45.7%
公衆浴場	11	11	100.0%
興行場	1	1	100.0%
旅館営業	92	27	29.3%
合計	323	83	25.7%

\*対象施設数は、平成19年度末の施設数



#### (3) 講習会等の開催状況(平成19年度)

理容消毒講習 1回 40名参加

## 32403 医薬品等の安全確保

(主担当:保健衛生室 衛生指導課)

### 取組内容

1. 医薬品・医薬部外品等の品質、有効性、安全性を確保するため、薬局・医薬品販売業等の監視指導を実施するとともに、調剤過誤を防止するため、薬局の自主管理体制の促進を図ります。
2. 毒物劇物販売施設等の監視指導を行い、安全な取扱いの促進と保管管理の徹底を図ります。
3. 「愛の血液助け合い運動」をはじめとするキャンペーンに取り組み、献血思想の普及啓発等による献血の推進を図り、県内で必要な血液を確保します。



### 1 薬事

(1) 薬事関係施設数と調査監視状況

業種		市町				総数	調査監視件数
		熊野市	御浜町	紀宝町			
薬局		4	7	0	11	11	
医薬品	製造業	専業	0	0	0	0	0
		薬局	2	0	0	2	2
	一般販売業		1	0	0	1	1
	卸売一般販売業		0	0	0	0	0
	薬種商販売業		11	6	4	21	9
	特例販売業		6	1	0	7	2
医薬部外品	製造業		0	0	0	0	0
	輸入販売業		0	0	0	0	0
化粧品	製造業		0	0	0	0	0
	輸入販売業		0	0	0	0	0
医療機器	製造業		0	0	0	0	0
	販売業		107	33	28	179	29
毒物劇物	製造業		0	0	0	0	0
	販売業	一般	11	7	1	19	11
		農薬用品目	11	7	1	19	7
		特定品目	2	0	0	2	0
合計		155	61	34	261	72	

## (2) 調剤過誤防止と薬局における自主管理の促進

薬局に対して、監視の際に調剤過誤防止策に焦点をあて調剤全般についての聞き取りを行うとともに、法令遵守の意識を向上させるため自主点検を導入しました。

## 2 献血推進

医療に要するすべての血液製剤を献血により確保できるよう、市町、血液センター等と協力し、献血思想の普及啓発に努めました。特に、輸血の安全性向上の観点から、400ml献血への理解と協力を求めました。

### (1) 管内献血状況

平成19年度

市町	区分	200ml	400ml	計	献血バス 配車数
		献血者数	献血者数	献血者数	
	熊野市	1	420	421	9
	御浜町	1	99	100	2
	紀宝町	0	119	119	3
	合計	2	638	640	14

### (2) 献血キャンペーン

#### ・愛の血液助け合い運動街頭ページェント

平成19年7月31日 ジャスコ熊野店において実施 献血者数 92名  
ヤングミドナサポーター及び熊野ライオンズクラブ等の協力を得て実施しました。

#### ・ウインター献血キャンペーン

平成20年2月25日 ジャスコ熊野店において実施 献血者数 87名  
熊野ライオンズクラブ、青年会議所等の協力を得て実施しました。

## 32404 薬物乱用防止対策の充実

(主担当:保健衛生室 衛生指導課)

### 取組内容

1. 不正大麻とけし栽培の取締りを実施します。
2. 薬物の乱用を防止するため、街頭における啓発活動等を実施します。
3. 麻薬及び向精神薬の適正使用と適正な管理を指導します。



### 1 不正大麻・けし対策

市町広報を利用して、不正大麻やけしに関する情報提供を行い、発見と除去に努めました。

けしの除去数 382株

### 2 薬物乱用防止対策

#### (1) 薬物乱用防止啓発活動

平成19年度

実施日	内 容	場 所	対象数
H. 19. 5. 10	薬物乱用防止講習会	熊野保健所	16名
H. 19. 7. 5	「ダメ。ゼッタイ。」 普及運動街頭啓発	熊野市、御浜町、紀宝町内で啓 発資材配布	500名
H. 20. 3. 16	御浜ミュージックフェスティバル	御浜中央公民館	500名
H. 19. 12. 2	紀宝町健康祭り	紀宝町保健センター	300名

#### (2) 麻薬等取締法業務

医療機関、麻薬小売業者等への立入検査を実施し、麻薬、向精神薬、覚せい剤原料等の適正使用と適正な管理を指導しました。

平成19年度

市町 業 態	平成19年度				立入検査 施設数
	熊野市	御浜町	紀宝町	合 計	
麻薬診療施設	9	4	1	14	4
麻薬小売業者	3	7	0	10	10
合計	12	11	1	24	14



## 32405 人と動物との共生環境づくりの推進

(主担当:保健衛生室 衛生指導課)

### 取組内容

1. 狂犬病予防のために野犬の捕獲を行います。
2. 犬による危害発生を防止するため、正しい接し方教室等を開催します。
3. 動物愛護についての普及啓発のために動物愛護ポスター展等を実施します。
4. 動物取扱業者の監視を実施し、施設及び動物の取扱いの適正化を図ります。

### 1 狂犬病予防

狂犬病予防法、動物の愛護及び管理に関する法律、三重県動物の愛護及び管理に関する条例に基づき、飼育者に対し「正しい飼い方」についての指導啓発を行いました。

- ・飼育者に犬の登録と狂犬病予防注射の実施について啓発を図りました。
- ・動物による危害発生防止のため、飼い犬の係留を指導するとともに野犬捕獲に努めました。
- ・動物の正しい飼い方等の普及啓発を行いました。
- ・咬傷犬の届出と検診義務の普及啓発を図りました。

(1) 平成19年度月別畜犬捕獲等業務、咬傷犬届及び猫収容数

区分 月	畜犬捕獲等業務				咬傷犬	猫収容匹数
	畜犬捕獲頭数	畜犬引取頭数	畜犬返還頭数	畜犬処分頭数		
2007年4月	4	7	0	11	1	23
5月	6	1	0	7	2	18
6月	2	2	0	4	1	46
7月	2	5	0	7	0	54
8月	2	6	3	5	1	32
9月	3	7	1	9	0	48
10月	7	2	2	7	0	29
11月	3	4	0	7	0	25
12月	4	1	0	5	1	17
2008年1月	6	17	6	17	0	7
2月	2	2	2	2	1	5
3月	6	7	0	13	1	8
計	47	61	14	94	8	312

(2) 飼い犬等に関する苦情受付件数

平成19年度

総 数	係留義務違反 (放し飼い)	迷惑・モラル等 (ふん・鳴き声等)	咬傷事故	野犬捕獲依頼	その他 (登録注射等に関する こと)	飼い犬引取り依頼
130	19	19	8	48	14	22

(3) 犬との正しい接し方教室「犬と友達になろう」の開催状況

小学校低学年を中心に犬との接し方の講習を行い、モデル犬を用いて体験する。

平成19年度 1回開催 30名受講

## 2 動物愛護

(1) 動物取扱業者の状況

動物取扱業が届出制から登録制にかわり、動物の管理方法や販売方法が細かく決められたのに伴い、説明会を開催し、登録業者の監視指導を実施しました。

(平成19年度)

市町 区分	熊野市	御浜町	紀宝町	計	監視数
展 示	0	0	1	1	1
販 売	1	0	2	3	3
保 管	0	1	1	2	2

(2) 動物愛護の絵・ポスター募集点数

動物愛護の精神や意義、動物の適正飼育・終生飼育について理解や関心を深めてもらうため、小中学生を対象に動物愛護の絵・ポスターを募集しました。

平成19年度	185点
--------	------



## 325 感染症対策の推進

### 32502 感染症予防および治療体制の充実

(主担当:保健衛生室 健康増進課)

#### 取組内容

1. 法に規定されている感染症の患者が発生した場合、家族等の接触者に対して調査や検査を実施し、まん延を防止します。
2. 性感染症や大きな社会問題となっているエイズのまん延防止を図るため、知識の普及、啓発を図るとともに、検査、医療等の相談など総合的に事業を展開します。
3. 結核患者の早期発見、早期治療のため、定期外健診及び結核対策等を実施し、まん延の防止を図ります。

#### 1 感染症予防事業

各種感染症の予防対策と防疫対策の確立を図り、患者発生防止に努めます。

##### (1) 感染症届出状況

	一類感染症	二類感染症	三類感染症
平成17年度	0	0	0
平成18年度	0	0	0
平成19年度	0	0	0

一類感染症…エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、ペスト、マールブルグ病、ラッサ熱、南米出血熱、

二類感染症…急性灰白髄炎、ジフテリア、結核、重症急性呼吸器症候群（病原体がSARSコロナウィルスに限る）

三類感染症…腸管出血性大腸菌感染症、コレラ、細菌性赤痢、腸チフス、パラチフス

##### (2) エイズ相談及びH I V抗体検査等実施状況（平成19年度）

		男	女	計
エイズ	相談件数	18	15	33
	検査件数	16	14	30
梅毒	相談件数	16	14	30
	検査件数	16	14	30
B型肝炎	相談件数	16	21	37
	検査件数	16	21	37
C型肝炎	相談件数	32	63	95
	検査件数	17	21	38

##### (3) エイズ特別対策事業（エイズ予防啓発）

開催日	参加人数	実施対象	内容
平成20年 1月18日	29名	一般住民、教育関係者、 保健医療福祉関係者	講演テーマ: 私たちにできるエイズ 予防～検査・相談の現場から～ 講師: 神奈川県 中澤よう子医師

## 2 結核予防事業

当管内の結核り患率は県内と比較して特に高齢者で高く、喀痰塗抹陽性等、重症化して発見されるケースも多く見られます。そこで、引き続き高齢者に重点を置いた啓発活動を強化し、患者の早期発見、早期治療に繋げることにより感染防止を図ります。

### (1) 結核患者登録状況

#### ① 新登録患者数（活動性分類・性・年齢階級別）

平成19年1月1日～平成19年12月31日

		活動性結核								マル初 (別掲)	非定型 抗酸菌症 (別掲)		
		総数	肺結核活動性						肺外結核 活動性			治療中	治療中
			総数	喀痰塗抹陽性			その他の 結核菌陽性	菌陰性・ その他					
				総数	初回治療	再治療							
総数	総数	5	5	4	4	-		1		-	-		
	男	4	4	3	3	-		1		-	-		
	女	1	1	1	1	-		-	-	-	-		
0～4 歳	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
5～9 歳	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
10～14 歳	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
15～19 歳	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
20～29 歳	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
30～39 歳	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
40～49 歳	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
50～59 歳	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
60～69 歳	総数	1	1	1	1	-		-		-	-		
	男	1	1	1	1	-		-		-	-		
	女			-	-	-		-	-	-	-		
70歳 以上	総数	4	4	4	3	-		1		-	-		
	男	3	3	3	2	-		1		-	-		
	女	1	1	1	1	-		-	-	-	-		
年齢 不詳	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		

	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
--	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

② 市町別結核新登録患者の状況 平成19年1月1日～平成19年12月31日 (単位:人)

	活動性結核								マル初 (別掲)	非定型 抗酸菌症 (別掲)
	総数	肺結核活動性						肺外結核 活動性		
		喀痰塗抹陽性			その他の 結核菌 陽性	菌陰性・ その他				
		総数	初回治療	再治療						
総数	5	5	5	4	-		1		-	
熊野市	3	3	3	2	-		1	-	-	
御浜町	1	1	1	1	-		-	-	-	
紀宝町	1	1	1	1				-	-	

③ 過去5年間における市町別結核罹患率

	平成15年		平成16年		平成17年		平成18年		平成19年	
	新規 患者数	罹患率	新規 患者数	罹患率	新規 患者数	罹患率	新規 患者数	罹患率	新規 患者数	罹患率
総数	9	20.1	10	22.5	13	29.7	9	20.9	5	11.8
熊野市	4	19.7	3	15.0	8	37.7	3	14.3	3	14.6
御浜町	3	30.1	4	40.3	2	20.2	2	20.2	1	10.3
紀宝町	1	12.7	1	12.7	3	23.7	4	31.9	1	8.1
紀和町	-	-	-	-						
鶉殿村	1	20.4	2	41.2						

④ 平成18年末現在市町別結核登録患者数

平成19年12月31日現在

	総数	活動性結核							肺外結核 活動性	不活動 性結核	活動性 不明	マル初 (別掲)	非定型抗 酸菌症 (別掲)
		総数	肺結核活動性					登録時 菌陰性・ その他					
			総数	喀痰塗抹陽性			登録時 その他の 結核菌 陽性						
				総数	初回治療	再治療							
総数	22	7	5			-		-	15		-	-	
熊野市	11	4	3	2	2	-	1	-	7		-	-	
御浜町	4	1	1	1	1	-		-	3		-	-	
紀宝町	7	2	1	1		-	1	-	5		-	-	

⑤ 平成18年末現在結核登録患者数 (活動性分類・治療状況別)

平成19年12月31日現在

	総数	活動性結核							肺外結核 活動性	不活動 性結核	活動性 不明	マル初 (別掲)	非定型抗 酸菌症 (別掲)
		総数	肺結核活動性					登録時 菌陰性・ その他					
			総数	喀痰塗抹陽性			登録時 その他の 結核菌 陽性						
				総数	初回治療	再治療							
総数	22	7	5	3	3	-	2	-	2	15		-	-
入院中	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		-	-
外来治療中	7	7	5	3	3	-	2	-	2	-		-	-
治療なし	15	-	-	-	-	-	-	-	-	15		-	-
不明	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		-	-

(2) 結核医療及び公費負担診査状況

① 保険者別公費負担状況 (37-2条及び37条)

平成19年1月1日～平成19年12月31日

	被 保 険 者		国 保	老 保	生 保	そ の 他	計
	本 人	家 族					
申 請 件 数	5	0	2	7	0	0	14
合 格 件 数	5	0	2	7	0	0	14
承 認 件 数	5	0	2	7	0	0	14

② 命令入所患者の異動状況

平成19年1月1日～平成19年12月31日 (単位:人)

18年末 現 在	増			減						19年末 現 在	
	新規	転入	計	治ゆ	軽快	死亡	自己 退院	転出	そ の 他		計
0	3	0	3	0	2	1	0	0	0	3	0

③ 37条の規定による公費負担状況

平成19年1月1日～平成19年12月31日

平成18年末	新規件数	継続件数	解除件数	平成19年末
0	3	0	3	0

(3) 定期外健康診断実施状況

平成19年度 (単位:人)

	受診者数	ツバルクリン 反応検査	直接撮影	赤沈検査	喀痰検査	発病のおそ れがある者	結核患者
管 理 検 診	8	0	8	0	0	0	0
家 族 検 診	16	1	16	0	0	0	0
接 触 者 検 診	105	0	105	0	0	0	0

(4) 結核対策特別促進事業実施状況

○ 基幹病院との連携による服薬支援事業

結核研究所の看護職研修を基幹病院看護師に受講してもらうことで、外来結核患者への指導の充実と服薬支援の強化を図る。また、服薬困難者等に対しては、訪問 DOTS やケース会議を実施することで服薬支援の徹底を図る。

- ・平成19年12月3日～12月7日 紀南病院の看護師1名が結核研究所研修「保健師看護師基礎実践コース」を受講
- ・平成20年3月25日 紀南病院の看護師1名による伝達研修の開催

○ 高齢者に重点を置いた啓発活動の実施

○ 施設職員への研修会の開催

開催日	参加人数	実施対象	内容
平成19年9月	15名	警察署職員	イベントに参加した住民等に対して、結核予防に関する正しい知識の普及・啓発を図る。
平成20年2月	15名		
平成19年10月5日	69名	リスナー継続研修者	
平成19年11月18日	100名	ばんざい店来場者	
平成19年12月2日	150名	紀宝町健康まつり来場者	
平成20年1月20日	250名	食育フォーラム来場者	

開催日	参加人数	実施対象	内容
平成19年11月20日	15名	たちばな園職員	研修会の開催 「インフルエンザの予防対策等について」

### 3-3 健やかな暮らしを育むささえあい社会の構築

#### 331 健康づくりの推進

##### 33101 健康づくり活動の推進

(主担当:保健衛生室 健康増進課)

取組内容
------

1. 平成 16 年度に策定した紀南地域の広域健康づくり計画(きなん地方計画)を市町村を中心とする関係機関との連携により計画的に実施します。
2. 社会情勢に応じた地域保健活動を推進するため、地域や関係団体等の健康づくり担当者との検討会や研修を実施し支援します。
3. 「ヘルシーピープルみえ・21」推進に基づき、生活習慣の中の運動、喫煙の適正化に向けて学校、企業、NPO等と協働で環境づくりを推進していきます。
4. 「健康長寿日本一」の地域づくりをめざし、第2次実施計画によるげんき夢システムを元に官民協働の取り組みを推進しています。本年度は、10 年計画の最終年度として、健康づくり活動を中心に今後の地元市町や住民自らが継続して実施できる体制整備に取り組みます。

#### 1 健康づくり総合推進事業

##### (1) きなん地方計画推進会議の開催

平成 16 年 3 月に策定した紀南地域健康づくり計画である「ヘルシーピープルみえ・21 きなん地方計画」に基づき、紀南地域の課題として 8 分野（食育・思春期・糖尿病・こころの健康づくり・健診・運動・療育・受け皿）を中心に、所内または管内市町保健師会議で検討を行いながら、課題別優先度の高いものから取り組みを行っています。

推進会議 平成 20 年 1 月 29 日

##### (2) ヘルシーピープルみえ・21 の推進

地域で開催されるイベントなど様々な機会を活用して、ウォーキングを中心とした運動や、受動喫煙の防止、食育や食事バランスガイドの啓発を行いました。

時期	名称	対象	人数 (概数)	主な啓発内容
5 月	防煙教育 (木本高校定時制)	学生	28	受動喫煙防止、喫煙防止対策
11 月	世界エイズデー街頭啓発	住民	400	エイズについて正しい知識の普及
12 月	紀宝町健康祭り	住民	150	食育・食事バランスガイド・運動・ 受動喫煙防止・8020 運動



## 2 紀南健康長寿リーディングエリア形成事業

第2次実施計画に基づき、県民起点の観点から健康づくりを推進するため、各市町の協力のもと、以下のような取組を行いました。

- (1) 「げんき夢大学」：健康に関する講座を開催し、健康の維持・増進を図りました。  
(受講者数 180名)
- (2) 「げんき夢部会活動」：「健康づくり部会」、「福祉用具部会」、「みんなが救急救命士部会」、「アニマル療法研究部会」、「ゆる体操部会」、「生きがい産業・寺小屋21部会」等の活動を支援し、その普及・定着を図りました。特に、「ゆる体操」はマスコミ等により、紀南地域外にも情報発信されました。
- (3) 「げんき夢クラブ活動」：クラブ活動に対する支援を行うことによって、その活動の更なる定着化を図りました。(組織数 73名)
- (4) 「園芸療法普及活動」：園芸療法及び園芸福祉活動の更なる定着化を図りました。また、熊野市が実施している「花いっぱい運動」と連携し、事業展開を行っています。これらにより、地域や施設において、園芸療法ボランティアの協力を得ながら園芸療法の実践に繋がっています。(ボランティア数 45名)

平成9年度策定の「紀南健康長寿モデルエリア計画『げんき夢プラン』」を推進するため、平成10年度から一次実施計画、第二次実施計画に沿って、健康と生きがいに満ちた先導的な健康福祉エリアづくりを県と紀南地域の市町や関係機関、住民など官民協働で、広域的に取り組んできました。

この結果、① ボランティアの育成や、地域活動グループの組織化により、地域住民が、「健康づくり」、「生きがいづくり」、「地域づくり」に主体的に取り組む環境が整備され、② 活動グループが園芸福祉や健康食の普及、ゆる体操を取り入れた健康づくり、身体の不自由な方の自助具の製作、生きがいづくりのための苔ボール教室の開催等自主的な活動を展開し、いろいろな地域の課題に対応すべく、住民が自主的に参加し、健康で生きがいを持って生活できる地域の実現に向けた自立した活動が行なわれるようになりました。

しかしながら、紀南地域は急激な過疎高齢化や生活習慣病など多くの健康課題があり、これらに対応するため、今後も、地域の健康課題に即した効果的な「健康づくり対策」の推進が求められています。

## 33102 食環境の整備 (健康食育推進事業)

(主担当:保健衛生室 健康増進課)

### 取組内容

1. 県民一人ひとりの健康的な食生活習慣の形成をはかるため、関係者が協働して、若年期からの食育の推進及び「みえの食生活指針」の普及啓発を行います。
2. 健康的な食の選択を可能にするため、特定給食施設等に対する指導の充実を図るとともに、関係団体等と協働して健康に配慮した食の提供など、食環境の整備を進めます。
3. 市町栄養士の支援、食に関するボランティア団体等とのネットワークづくりを行い、地域に根差した栄養改善活動を進めます。

### 1 朝食欠食幼児ゼロ推進事業

#### (1) 食育フォーラム・食育推進研修会の開催

地域で食育を実践・支援している団体・関係機関等が、相互の活動を知り、食育についての共通認識を持つことにより、食育実践の場において効果的な取り組みが継続的に行われていくことを目指して、教室やフォーラムを開催しました。

また、幼児期から学童期の食育を進めるうえで大きな影響を与える保護者や保育・教育関係者を対象に食育に対する知識を深め、今後の取り組みの充実を図ることを目的に食育講演会を開催しました。

#### ①食育たいけん教室第3弾にの巻

実施年月日	実施場所	参加者
平成 19 年 11 月 10 日(日)	熊野保健福祉事務所	地域の幼児・小学生及びその保護者 7組18人
<p>&lt;概要&gt;</p> <p>紀南地域では、以前から継続して保健所・市町・NPO団体等が協働で食育活動を推進しています。また、食育の取り組みは2年前のアンケート調査からも様々な主体により進められていることがわかりました。</p> <p>しかし、食育のテーマのほとんどが、「食べ物の育ちを感じる」栽培活動や「料理ができる」クッキング体験といったものであり、三重県が推進している食育のテーマの一つでもある「食べ物の味がわかる」については、ほとんどありませんでした。</p> <p>その理由には、「目に見えるものではない」こと、指導支援する人材が少ない(保育所等に栄養士が配置されていない)ということがあげられるのではないかと思います。</p> <p>そこで、以前から当地域で率先して「五感を使った食育」をテーマに活動している食育ネットワークの実績とノウハウ生かした啓発をモデル的に開催し、今後地域へ波及することも念頭に教室を実施しました。今回は第3弾「におい」と「親子のコミュニケーション」をテーマに取り上げました。</p> <p>&lt;具体的な内容&gt;</p> <p>◇においをかいでみよう！おいしいスイッチはどこで入る？</p> <p>(1) 食材そのまんまで ↓ ↓ ↓ (2) お鍋で炊飯の時      野菜を茹でている時      魚を焼いている時 ↓ ↓ ↓ (3) 調味してできあがりの時</p>		

## ②食育フォーラム

実施年月日	実施場所	参加者
平成 20 年 1 月 20 日 (日)	熊野市保健福祉 センター	地域の親子及び PTA 会員、食育推進関係者等 午前(イベント)100 人 午後(講演会) 150 人

### <概要>

当地域での第6回目となる食育フォーラムを開催しました。今年は、とくに紀南PTA連合会とのはじめての協働事業となり、子育て世代の男性や教育関係者への啓発ができました。

また、各団体がノウハウを持ち寄り、新しい食育ツール(買い物ゲーム等)の創作などの成果もありました。

### <具体的な内容>

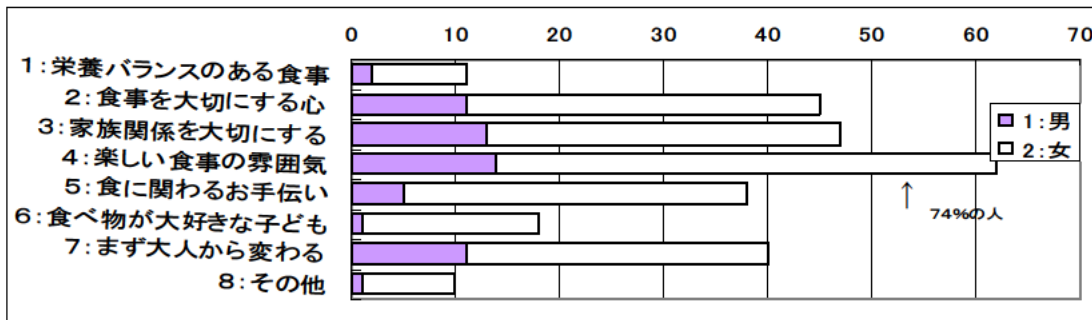
#### ◇ 午前の部

- においの探検隊キャラクター「くんちゃん」のスタンプラリー
- 「くんちゃん商店街」で親子でお買い物ゲーム バランスよくお買い物
- 体験！にぎにぎおにぎり、郷土の料理 めはりずし、石臼コロコロきなこ体験
- においで目覚める朝ご飯 など

#### ◇ 午後の部

- 食育講演会「からだ・心をそだてる食育」
- 講師 名古屋短期大学教授 小川雄二 先生

参加者が講演を聞いて、今まで以上に子どもに関わっていきたいと感じたことは「食卓の楽しい雰囲気を作っていきたい」が一番多かった(アンケート回答者 84 人中 74%)



(第3種郵便物認可)

### 栄養バランス点検

#### 熊野で「食育フォーラム」

子どもや保護者に食育を求めた。その後、栄養への理解を深めてもらう。土に買い集めた食材を見「食育フォーラム」が二せで、栄養のバランスな十日、熊野市井戸町の市保健福祉センターで開か。親子連れを約二山小四年の山本健紀さん百人が訪れ、食べ物などについて学んだ。

NPO法人「子どもステーション」のまのや自治体などつくる紀南地域食育推進連絡協議会主催して今年で六回目。今回は、体験イベントと講演会があった。

イベントでは、子どもたちが食卓の献立を考え、食材の買い物体験するコーナーがあった。子どもたちはカレーライスなど自分たちが決めた献立に必要な肉や野菜などの材料を、食肉や八百屋に見立てた場所で買

のだけを買って帰るけど、今日はメニューも考えて楽しかったと話していた。

このほか、おにぎりを握る体験や大豆から、ひき臼できな粉を作る体験コーナーなどもあり、来場者は楽しんでいた。講演会では、名古屋大の小川雄二教授が「からだ・心をそだてる食育」と題して話した。

(桜井 祐)

中日新聞  
H20.1.22  
朝刊記事

食材を選ぶ子どもら＝熊野市の市保健福祉センターで

↑ きなん地方計画では、食育の目標に「食事が楽しいと感じている子どもを増やす」があります。

においの探検隊キャラクター  
「くんちゃん」



### ③食育推進者への支援等

地域で食育を推進する関係団体の一つである熊野食生活改善推進協議会が、中学生を対象に食育講座を開催するにあたり、献立づくりや実施にあたっての留意点、手順等について相談・アドバイスを行いました。

また、必要に応じて様々な主体で行われる食育推進に各種啓発物を提供しました。

## (2) 紀南地域食育関係者連絡会議の開催

平成19年に策定された三重県食育指針計画による三重県の目指す食育の基本方針等に関係者で共有すること、また昨年度まで設置していた「きなん食育推進ネットワークプロジェクト会議」で作成した食育のツール等の活用を検討すること、きなん地方計画(HPみえ・21の保健所版)の基本目標でもある食育推進の協働の場づくりとなることを目的に会議を開催しました。

実施期間・回数	実施場所	メンバー構成
平成19年8月～ 平成20年1月の間 全体会議 7回 部会 1回	NPO法人子どもステーション くまの事務局	NPO法人役員5人・食生活改善推進員団体代表1人・地域活動栄養士1人・紀南健康長寿協議会健康づくり部会代表1人・市町栄養士3人・学校栄養職員代表1人・熊野(県)農林関係職員1人
内容 会議で当地域の食育に関する課題や解決策について議論やお互いの食育活動についての情報交換を行いました。昨年まで設置されていたプロジェクト会議で作成した各種の食育ツールの活用状況と今後の活用を探ったが(19年度の目標のひとつ)、その活路は見いだせませんでした。 しかし、相互の特徴を生かしながらのイベント企画を通じて、関係者の連携を深めるとともに、先駆的モデル的な食育の取り組みを地域に示すことができました。		

## (3) アンケート調査の実施

ヘルシーピープルみえ21保健所版である「きなん地方計画」の基本方針のひとつ、食育の目標「家庭で食卓を囲みおいしく楽しい食事を」の指標とされている「食事が楽しいと感じている子どもを増やす」について、「楽しい食事」とはどんな食事なのかを把握するためのアンケート調査を実施しました。

- ・ 期日:平成19年10月～12月(2回)
- ・ 方法:健康まつり等のイベントを利用し、記述式のアンケートを実施しました。
- ・ 回答者数:183人
- ・ 結果:「楽しい食事」とは、約50%の人が「家族」と「一緒に」食べる食事、約30%の人が「仲間」と「一緒に」食べる食事と答えました。紀南地域では「家族」と「一緒に」が食育を進めるキーワードです。

## 2 食事バランスガイド地域協働啓発事業

### (1) リーダー研修会の開催

平成16年度に実施した県民栄養調査の熊野保健所実施分の結果から、県全体の結果に比べて、果物類は多いが、野菜(特に緑黄色野菜)・いも類、牛乳・乳製品の摂取量が少ないという傾向がみられたので、関係団体と協働し、どのような世代にも大ざっぱなイメージでバランスを啓発できる「食事バランスガイド」をツールとして、「野菜5つ(SV)食べること」について重点的に啓発を行いました。

#### ①食生活改善推進員団体リーダーに対する研修会

実施年月日	実施場所	参加者
① 平成 19 年 5 月 13 日(日)	熊野市保健福祉 センター	熊野食生活改善推進連絡協議会リーダー等 74 人
実施年月日	実施場所	参加者
② 平成 19 年 11 月 8 日(木)	熊野保健福祉事 務所	熊野食生活改善推進連絡協議会役員 26 人
①講 演:「使ってみませんか? 食事バランスガイド。野菜は5つ!」 ②説 明: 調理実習等での食事バランスガイドの使い方 担当:熊野保健福祉事務所 管理栄養士		

## ②健康づくりを進める団体に対する研修会

実施年月日	実施場所	参加者
① 平成 19 年 7 月 30 日(月)	熊野市保健福祉 センター	紀南健康長寿推進協議会健康づくり部会 12 人
実施年月日	実施場所	参加者
② 平成 20 年 3 月 24 日(月)	熊野市保健福祉 センター	紀南健康長寿推進協議会健康づくり部会 9 人
① 説明②調理実習 担当:熊野保健福祉事務所 管理栄養士 食事バランスガイドの活用について説明及びバランスレシピによる調理実習により、バラン スガイドのサービング数と実際の料理の目安について研修を行いました。また、紀南地域で 不足している野菜料理を2SV(サービング)増やす取り組み目標を共有しました。		

## (2) 地域栄養管理ネットワーク研究会との協働

各職域の管理栄養士・栄養士の交流及び連携を進めるとともに、委員会や研修会を通し  
て食事バランスガイドの啓発や時事に対応した情報提供を行いました。

### ① 働く世代の食事調査(アンケート)の実施

実施年月日	対 象(回答者数)
平成 19 年 9 月~11 月	当該委員会委員の所属する職場職員 (274 人)
<p>今、話題となっているメタボリックシンドローム対策として、当該ネットワークを生かした取り組 み(協働)を模索するため、まず地域の食と栄養の実態と課題を把握すべく働く世代の食生活 アンケートを実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 調査対象が研究会委員の職場職員という偏りはあるものの、ある程度の傾向と、日頃の 栄養士の気づきを検証することができました。</li> <li>・ 現在健康に不安がある、または治療中の人は食や栄養に関するニーズが高く、中でも 「なにをどれだけ食べればよいのか、食べているのかが知りたい」というニーズが多かつ たことから、食事バランスガイドの普及啓発が有効ではないかと思われました。</li> <li>・ 食事記録を食事バランスガイドで集計すると、全体的には主食、副菜が少なく、 主菜の摂取が多い傾向がみられました。</li> <li>・ 次年度からの取組の参考資料となりました。</li> </ul>	

② 地域栄養管理ネットワーク委員会及び研修会の開催

	実施回数	実施場所	委 員
委員会及び部会	委員会 4回 調査部会 5回	熊野保健福祉事務所会議室等	委員 各分野から13人 部会 委員4人
研修会 (尾鷲と合同開催)	日時：平成20年2月20日(金)10時～17時 場所：県尾鷲庁舎501会議室 参加者：31人(内 熊野管内 18人) 講演：「患者(喫食者)満足度の高い食事サービス実現のポイント」・・・真空調理の実演試食含む・・・ 講師：愛知県厚生連海南病院栄養科企画係兼 兼務ディレクター主任栄養士 小佛和行 先生 同                    栄養科調理主任 鈴木晴夫 先生 他 情報提供等		

(3) その他地域協働啓発事業

パネル展示・リーフレット配布等による主な協働啓発事業

実施年月日	実施場所	イベント名
平成19年 11月18日(日)	御浜町ピネ 駐車場	「地産地消さろん」との協働イベント 「自慢!地元ばんざい展Ⅱ」 地域住民 3000人
平成19年 12月2日(日)	紀宝町保健セン ター	紀宝町との協働 健康まつり 地域住民 150人

3 給食施設強化事業

健康増進法、健康増進法施行細則に基づき、特定給食施設等の巡回指導等を実施しました。

① 巡回指導

19年度は暫定的決められた県の基本方針により、尾鷲及び熊野保健福祉事務所の栄養指導員が複数体制で、施設の区分による巡回の目安に準じて巡回指導を行いました。

施設の区分 (巡回実施の基本方針)	管内給食施設数	指導数
知事指定施設 (毎年実施)	1	1
栄養士配置の無い特定給食施設 (毎年実施) (学校は、括弧書き再掲)	4(0)	4(0)
①②以外の特定給食施設 (2年に1回実施) (学校は、括弧書き再掲)	11(7)	4(0)
一般給食施設 (3年に1回実施) (学校は、括弧書き再掲)	39(14)	7(0)
計	55(21)	16(0)

② 集団指導（尾鷲との合同開催）

実施回数	対象(管内分)	内容
3回	保育所給食栄養計画 担当者(栄養士) 管内4人 (保育所22施設分)	(1) 食事摂取基準2005年版での栄養計画作成方法 (2) 栄養アセスメント (3) 大量調理施設衛生管理マニュアルの活用

③ 給食施設従事者研修会（尾鷲との合同開催）

実施年月日	実施場所	対 象 (参加者数)
平成19年 6月12日(火)	県尾鷲庁舎 501会議室	熊野・尾鷲管内の高齢者施設 給食施設従事者(16人内熊野7人)
講演：「高齢者に多発する疾病の基礎知識と対応について」 講師：尾鷲・熊野保健所長 他 事例検討、情報交換等		
実施年月日	実施場所	対 象 (参加者数)
平成19年 10月9日(火)	県尾鷲庁舎 501会議津	熊野・尾鷲管内の給食施設従事者 (44人内熊野25人)
講演：「行動変容のためのコミュニケーションスキル」 講師：東海学園大学人間健康学科講師 松田泰昌 先生 講演：「私達の味づくり革命・めざせ味の標準化」 講師：医療法人永井病院栄養科長 小畑ルミ 先生		

### 3 人材育成・支援事業

① 地区組織活動支援

実施年月日	実施場所	対 象 (参加者数)
平成19年 11月8日(木)	熊野保健福祉事務所栄 養指導室	熊野食生活改善推進連絡協議会役員 (26人)
◇ リーダー（役員）対象の組織運営支援研修会 活動の活性化を図るには？など課題別グループワーク ◇ その他 適時情報提供		

② 市町行政栄養士支援

実施回数	実施場所	対 象
5回	熊野保健福祉事務所	市町保健分野管理栄養士 3人
◇ 情報交換、連絡調整、資質向上 等		

③ 地域活動栄養士支援

対象人数が少なく、組織化のニーズもないため、職域ネットワーク研究会を活用し、特定健診・指導等について随時情報提供を行いました。

### 4 虚偽誇大広告、栄養表示等相談・指導

相談件数 2件

## 33103 こころの健康づくりの推進

(主担当:保健衛生室 健康増進課)

### 取組内容

1. こころの健康づくりを推進するため、関係者を対象とした研修や地域でのリスナー(傾聴者)を養成し、地域全体で実践できるよう啓発活動を行います。

#### 1 リスナー継続研修会

リスナーのフォローアップ及びそれぞれの情報交換を目的として、今年度は自殺予防を目指して、開催しました。

開催月日および内容、講師

平成19年10月 5日:「今を生きるために」西原由記子氏

19日:「精神科疾患の理解」崎山 忍 医師

11月 2日:「統計から見た自殺」中村 公郎 医師

「自殺対策と社会資源」保健師

8日:「積極的傾聴」前田 隆司氏

16日:「電話相談の受け方」野殿 照子氏

実施場所:熊野庁舎

参加人数:延べ122人

#### 2 こころの健康づくり研修会

こころの健康づくりを推進していく関係者及び一般住民の方を対象に研修会を開催しました。

開催月日:平成19年10月5日(金) 実施場所:熊野庁舎

内 容:講演会

「今を生きるために」～傾聴ボランティア30年の経験から～

講師 西原 由記子氏

NPO国際ビフレンダーズ 東京自殺防止センター創設者

参加人数: 69名



### 332 子育て環境の整備

#### 33201 保育・放課後児童対策等の充実

(主担当: 福祉相談室 福祉課)

##### 取組内容

- 1 通常の保育事業のほかに、多様化する地域の保育ニーズに応じ、地域子育て支援センターや放課後児童クラブの設置を促進します。

#### 1 保育所

保育所は、保護者が就労したり、あるいは疾病にかかるなどのため、家庭において保育することができない児童を、保護者にかわって保育することを目的とする児童福祉施設で、国が定める基準に沿って保育事業を行っています。

平成19年度末現在

市町名	施設数	定員	入所児童数	(年齢別内訳)				学齢前児童数	整備率(%)
				0歳	1～2歳	3歳	4歳以上		
熊野市	10	575	451	11	110	109	221	962	59.8
御浜町	3	370	294	2	54	72	166	536	69.0
紀宝町	6	441	314	0	58	83	173	593	74.4
計	19	1,386	1,059	13	222	264	560	2,091	66.3

整備率=保育所定員/学齢前児童数

#### 2 子育て支援

近年、保育事業の多様化により、障害児保育等の特別保育事業を実施しています。また、一部の保育所においては、園庭の開放も行っています。

障害児保育事業	御浜町 3ヶ所、紀宝町 2ヶ所、熊野市 4ヶ所
地域子育て支援センター	熊野市 1ヶ所 御浜町 1ヶ所
放課後児童健全育成事業	熊野市 2ヶ所 紀宝町 1ヶ所
低年齢児保育推進事業	熊野市 1ヶ所

#### 3 管内の児童福祉施設（保育所を除く）の状況

平成19年度末現在

施設の種別	施設名	市町村名	種別
児童館	波田須児童館	熊野市	小型
	小阪児童館	熊野市	小型

平成19年度末現在

施設の種別	施設名	市町村名	定員	現員
母子生活支援施設	熊野市母子生活支援施設	熊野市	10世帯	3世帯

## 33203 母子保健対策の推進

(主担当:保健衛生室 健康増進課)

### 取組内容

1. 乳幼児、未熟児、思春期を対象とした専門的なサービスの提供や、養育医療等を必要とする児童に対して経費の負担等を行うことで適切な医療が受けられるよう支援を行います。

#### 1 母子医療給付事業

(1) 育成医療 (市町別・疾患別給付状況) 平成 19 年度

	熊野市	御浜町	紀宝町	計
肢体不自由	1	1	1	3
視覚障害	4	2	2	8
聴覚・平衡機能障害	0	0	0	0
音声・言語・そしゃく機能障害	2	1	3	6
心臓障害	1	0	1	2
腎臓障害	0	0	0	0
その他内臓障害	3	1	1	5
免疫機能障害	0	0	0	0
小腸機能障害	0	0	0	0
計	11	5	8	24

(2) 養育医療 (市町別給付状況) 平成 19 年度

	熊野市	御浜町	紀宝町	計
件数	3	2	1	6

(3) 小児慢性特定疾患治療研究事業 (市町別・疾患別給付状況) 平成 19 年度

	熊野市	御浜町	紀宝町	計
悪性新生物	6	0	1	7
慢性腎疾患	1	0	1	2
慢性呼吸器疾患	0	0	0	0
慢性心疾患	3	0	1	4
内分泌疾患	4	4	2	10
膠原病	1	2	0	3
糖尿病	2	0	1	3
先天性代謝異常	0	0	1	1
血友病等血液疾患	0	2	1	3
神経・筋疾患	0	0	0	0
慢性消化器疾患	1	0	0	1
計	18	8	8	34

(4) 特定不妊治療費助成事業 (市町別給付状況) 平成19年度

	熊野市	御浜町	紀宝町	計
件数	4	2	9	15

## 2 健やか親子支援事業

(1) 心身の発達に問題をかかえる子どものフォローアップ

① 未熟児及び長期療養児の家庭訪問

	延べ件数
未熟児	14
長期療養児等	1

② のびのび療育相談(肢体不自由児巡回相談)

	第1回	第2回	第3回	第4回
月 日	H19年7月3日	H19年9月25日	H19年11月27日	H20年3月4日
場 所	紀南病院 すこやかルーム	紀南病院 すこやかルーム	紀南病院 すこやかルーム	紀南病院 すこやかルーム
スタッフ	草の実(医師) 紀南病院(看護師・PT) 熊野保健福祉事務所(保健師) 熊野市(家庭児童相談員)	草の実(医師・PT・ST) 紀南病院(看護師・PT) 肢体不自由児協会 熊野保健福祉事務所(保健師) 熊野市(家庭児童相談員)	草の実(医師) 紀南病院(看護師・PT) 熊野保健福祉事務所(保健師) 熊野市(家庭児童相談員)	草の実(医師・PT・ST) 紀南病院(看護師・PT) 肢体不自由児協会 熊野保健福祉事務所(保健師) 熊野市(家庭児童相談員)
受診者数	18人	20人	11人	19人

③ すぎママの会への支援

実施回数 : 2回  
場 所 : 熊野市保健福祉センター

④ 町親子教室への支援

実施回数 : 10回  
場 所 : 紀宝町保健センター、御浜町福祉健康センター

⑤ 重症心身障害児(者)通園事業への支援

実施回数 : 7回  
場 所 : 紀南病院すこやかルーム

(2) 思春期保健

① 健康教育

実施日時	実施場所	対象者	内容
平成19年5月14日	木本高校	定時制生徒28名	防煙教育 講師：熊野保健福祉事務所 保健師

② 思春期電話相談

実施日 毎月第2・4月曜日  
相談件数 60件

(3) 母子保健体制の整備

① 紀南地域母子保健医療推進協議会への参加

代表者会議 1回  
実務委員会 1回  
連絡会議 3回  
療育ワーキング 4回  
継続ケアワーキング 8回

② 母子研修会

実施日時	実施場所	対象者	内容
平成20年 1月27日	熊野市保健福祉センター	地域の育児支援者、 保護者、保育士、保健師等	講演「こども・乳児の心理とケア（発達心理）」 講師 高田短期大学 千草篤磨氏 参加者 24名

③ 紀南地域児童家庭支援協議会（要保護児童対策地域協議会）への参加

代表者会議 1回  
実務者会議 1回

### 3 母体保護事業

(1) 人工妊娠中絶 (年齢別・在胎週別届出数)

平成19年度

区 分		20歳 未満	20～ 24歳	25～ 29歳	30～ 34歳	35～ 39歳	40～ 44歳	45～ 49歳	50歳 以上	不祥	計
満7週 以 前	第1号該当	5	7	9	11	18	5	0	0	0	55
	第2号該当	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	5	7	9	11	18	5	0	0	0	55
満8週 ～ 満11週	第1号該当	7	10	5	14	10	9	0	0	0	55
	第2号該当	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	7	10	5	14	10	9	0	0	0	55
満12週 ～ 満15週	第1号該当	1	0	1	1	2	0	0	0	0	5
	第2号該当	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	1	0	1	1	2	0	0	0	0	5
満16週 ～ 満19週	第1号該当	1	1	1	0	0	0	0	0	0	3
	第2号該当	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	1	1	1	0	0	0	0	0	0	3
満20週 ～ 満21週	第1号該当	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	第2号該当	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
不 祥		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計		14	18	16	26	30	14	0	0	0	118

(2) 不妊手術

届出件数 0件

### 33205 児童と一人親家庭の自立支援

(主担当:福祉相談室 福祉課)

取組内容
------

1. 母子家庭及び寡婦が安定した生活を営むことができるように、必要な資金の貸付や相談等による支援を行うとともに、就労支援対策を実施し、自立の促進をはかります。

(1) 母子・寡婦福祉資金貸付け状況

平成19年度

		熊 野 市		南 牟 婁 郡		計	
		件数 (件)	金額 (千円)	件数 (件)	金額 (千円)	件数 (件)	金額 (千円)
母 子 福 祉 資 金	事業開始						
	事業継続						
	住 宅						
	修 学	7	16,026	4	2,157	11	18,183
	就学支度	3	1,056	2	1,180	5	2,236
	修 業						
	そ の 他	1	100			1	100
	計	11	17,182	6	3,337	17	20,519
寡 婦 福 祉 資 金	事業開始						
	事業継続						
	住 宅			1	1,500	1	1,500
	修 学						
	就学支度						
	そ の 他						
	計						
計		11	17,182	7	4,837	18	22,019

## 333 地域とともに進める福祉社会づくり

### 33301 地域福祉活動の推進

(主担当:福祉相談室 企画課)

#### 取組内容

- 1 地域福祉の総合的な推進をはかるため、住民が互いに支えあう社会づくりをめざした県及び市町の社会福祉協議会の事業を支援します。
- 2 誰もが、いつでも、どこでも、ボランティア活動に参加できる体制を整備するため、県及び市町の社会福祉協議会のボランティアセンターの機能の強化を進めます。
- 3 住民の身近なところでの相談・支援体制を整備するため、民生委員の適正な配置と活動を確保するとともに、民生委員の資質向上のための研修や民生委員協議会活動の促進を図ります。

#### 1 地域福祉

##### (1) 市町社会福祉協議会の活動

社会福祉法の成立により、市町社会福祉協議会は、地域福祉の推進を図ることを目的とした団体として明確に位置付けられており、地域福祉権利擁護事業をはじめとする福祉サービスの利用者を支援する役割をはたしています。

地域住民と地域のあらゆる団体・組織の参画と協働により、地域の福祉ニーズに対して包括的に生活を支援する取り組みや事業を企画・実施し、それらを通じて誰もが安心して生活できる福祉のまちづくりが進められています。

社会福祉協議会職員の状況

平成20年4月1日現在

	一般職員	事業関係職員	合計
熊野市社会福祉協議会	6	166	172
御浜町社会福祉協議会	5	63	68
紀宝町社会福祉協議会	3	101	104
合計	14	330	344

事業関係職員：パート・臨時等含む

## 2 ボランティア活動

民間社会福祉活動の担い手であるボランティアグループは、社会福祉協議会が中心となり数多く結成され、活動の輪も広がってきています。

ボランティア講座が開かれ、それとともにボランティア協議会に結集して連携をもったきめ細かな取り組みが進んでいます。

ボランティアの状況

平成20年4月1日現在

市町名	団体数	登録者（人）	養成研修等の有無
御浜町	26	522	有
紀宝町	61	1,460	有
郡 計	87	1,982	
熊野市	44	1,986	有
合 計	131	3,968	

主な活動内容

ひとり暮らし老人への給食・配食サービス、交流会、施設慰問等

## 3 民生委員児童委員活動

住民の最も身近なところで活動を展開している民生委員活動の活性化を図るため、組織活動への支援や研修の充実を図ります。

各種相談員一覧表

平成20年4月1日現在

市町名	民生委員 児童委員	主任児童委員	母子福祉協力員	相談員	
				身障	知的
御浜町	30	2	4	1	0
紀宝町	38	3	3	1	1
郡 計	68	5	7	2	1
熊野市	77	4	13	1	1
合 計	145	9	20	3	2

※民生委員児童委員数には主任児童委員数は含まれない。



## 33302 ユニバーサルデザインのまちづくりの総合啓発

(主担当:福祉相談室 企画課)

### 取組内容

1. バリアフリー、ユニバーサルデザインのまちづくりの基本理念を市町や事業者、県民に広く普及啓発するため、各種機会を通じて対象にあった内容の事業を展開します。

#### 1 ユニバーサルデザインのまちづくり

障がいのある人もない人も、高齢者も若者も、すべての人の人権が尊重され、共に暮らすことができる社会の実現のため、あらゆる分野における人々の自由な参加を拒んでいる様々な障がいをなくし、ひとりひとりが互いに価値を認め合いながら、自由に行動し、安全で快適な生活できるユニバーサルデザインのまちづくりの推進を図る。

#### 平成20年2月17日 三重県ユニバーサルデザインのまちづくり賞

管内で活動する「紀南バリアフリー研究会」が、地域の模範となるユニバーサルデザインの普及活動が評価され、平成19年度三重県ユニバーサルデザインのまちづくり賞 団体部門 UDのまちづくり賞を受賞した。

#### 平成20年3月17日～31日 UDのまちづくり賞受賞記念展示

「紀南バリアフリー研究会」と協働して、県熊野庁舎1階県民ホールでパネル展示などの啓発活動を実施した。



### 3-4 安心を支える医療・福祉の推進

#### 341 医療提供体制の整備

##### 34101 患者本位の医療の推進

(主担当:福祉相談室 企画課)

(主担当:保健衛生室 衛生指導課)

#### 取組内容

1. 医療環境の整備をはかるため、医療監視を行います。

#### 1 医務

医療施設は、平成20年3月31日現在で病院2（一般病院1、精神病院1）、一般診療所37、歯科診療所23となっています。

##### (1) 市町別医療施設数

平成20年3月31日現在

種別	市町名	熊野市	御浜町	紀宝町	計	人口10万対※		
						管内	三重県	全国
病院	一般		1		1	2.3	5.3	6.2
	精神	1			1	2.3	0.7	0.8
	計	1	1		2	4.6	6.0	7.0
一般診療所		26	7	4	37	86.9	78.4	77.1
歯科診療所		13	4	6	23	54.0	45.7	52.7
歯科技工所		5	2	4	11			
施術所		29	7	6	42			

※三重県及び全国の値は平成18年10月1日現在

##### (2) 病床数（病院・診療所）

平成19年10月1日現在

	病床数	人口10万対※			
		管内	三重県	全国	
病院	一般病床	234床	549.8	613.7	713.0
	療養病床	40	94.0	257.5	274.1
	結核病床	10	23.5	4.3	8.7
	感染症病床	4	9.4	1.1	1.4
	精神病床	334	784.7	265.3	275.8
	計	622	1,461.4	1,141.8	1,273.1
一般診療所	16	37.6	122.8	125.1	

※三重県及び全国の値は平成18年10月1日現在

## (3) 医療関係従事者数

平成 18 年度末現在

種 別	従事者数	種 別	従事者数
医 師	67	准 看 護 師	235
歯 科 医 師	25	歯 科 衛 生 士	22
薬 剤 師	30	歯 科 技 工 士	14
保 健 師	25	理 学 療 法 士	5
助 産 師	7	作 業 療 法 士	6
看 護 師	250	合 計	686

\* 医師・歯科医師・薬剤師は医師・歯科医師・薬剤師調査による

\* その他は衛生行政報告例（理学療法士・作業療法士については病院従事者数）による

## (4) 管内病院の概要

平成 20 年 3 月 31 日現在

名 称	所 在 地	診 療 科 目	病 床 数
紀 南 病 院	御 浜 町 阿 田 和 4750 TEL 05979-2-1333	内科、小児科、外科、整形外科、 神経内科、脳神経外科、産婦人科、 眼科、耳鼻咽喉科、皮膚科、リハ ビリテーション科、放射線科、泌 尿器科、歯科口腔外科	一般 234 療養 40 感染 4 結核 10
医 療 法 人 紀 南 会 熊 野 病 院	熊 野 市 久 生 屋 町 868 TEL 0597-89-2711	内科、神経科、精神科	精神 334

## 341 医療体制の整備

### 34103 救急・へき地医療体制の整備

(主担当:福祉相談室 企画課)

#### 取組内容

1. 地域住民の救急医療を確保するため、管内の一次救急、二次救急および救命救急医療対策整備を行います。

#### 1. 地域救急医療対策事業

熊野市及び南牟婁郡における休日または夜間の救急病患者を含む救急医療体制や、災害時における救急医療体制の充実強化を図るため、関係機関等が協議をしました。

##### (1) 平成19年度紀南地域救急医療対策協議会

開催日 : 平成19年6月7日(木)

場 所 : 熊野保健所 会議室

内 容 : ①委員変更及び役員変更  
②実務委員会活動報告  
③実務委員会活動計画  
④救急医療の現状報告

##### (2) 平成19年度紀南地域救急医療対策協議会実務委員会

開催回数 : 6回

内 容 : ①災害時における救急医療体制についての検討  
②救急の日のイベント、タウンミーティングについての検討  
③メディカルコントロール体制についての検討

##### (3) 「救急の日」イベントの開催

開催日 : 平成19年9月9日(日)

場 所 : 紀宝町生涯学習センター「まなびの郷」

内 容 : ①講演「来るべき大地震・大津波に備える」

講師 : 三重大学大学院工学研究科 准教授 川口 淳氏

②講演「災害時のトリアージについて」

講師 : 三重大学医学部附属病院救急部 畑田 剛氏

③講演「阪神大震災の被災者としての体験談」

講師 : 橋本安弘氏

④その他、紀南医師会、熊野市消防本部による講義・実演

参加者 : 244名

(4) 普通救命 (AED) 講習会の開催

開催地 : 10 地区

内 容 : 講 義 ・ ・ 紀南医師会 医師

実技指導 ・ ・ 熊野市消防本部 救急救命士

修了者 : 147 名

(5) 医療問題を考えるタウンミーティングの開催

目 的 : 紀南地域が抱える医療問題や課題について、地域の医療関係者、住民、行政が  
ともに解決の方策を考えていく。

開催場所 : 出前式 6 会場 (熊野市内 2 会場、御浜町内 2 会場、紀宝町内 2 会場)

講演式 1 会場 (御浜町役場くろしおホール)

参加者 : 出前式 191 名 (6 会場合計)

講演式 88 名

## 34105 骨髄バンク、臓器移植等の推進

(主担当:保健衛生室 衛生指導課)

### 取組内容

#### 1. 骨髄移植や骨髄バンク制度の普及啓発とドナー(骨髄提供希望者)登録の推進を図ります。

##### 1 骨髄提供希望者の登録受付け状況

定期的な登録受付は、毎月第三水曜日に開設していますが、より登録しやすいように、献血とあわせて受付を行ったり、市町の健康まつりで受付窓口を開設しました。

平成19年度登録者数 1名

##### 2 普及啓発事業

市町の健康まつりや管内の高等学校の文化祭等において、骨髄バンクコーナーを設置し、来場者に対し骨髄移植や骨髄バンクに関する資料を掲示するとともに、パンフレットや啓発資材を配布して理解を求めました。

実施日	まつり等の名称	実施場所
平成19年10月12日	紀南高等学校文化祭	県立紀南高等学校
平成19年10月21日	紀宝町みなとフェスティバル	鵜殿港
平成19年12月2日	紀宝町健康まつり	紀宝町保健センター
平成20年3月16日	御浜ミュージックフェスティバル	御浜町中央公民館

## 34106 難病患者等の支援

(主担当:保健衛生室 健康増進課)

### 取組内容

1. 原子爆弾被爆者の健康管理や各種手当の支給等を実施します。
2. 難病患者及びその家族のQOL(生活の質)の向上を図ります。

### 1 原子爆弾被爆者対策事業

「原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律」に基づき、被爆者健康手帳所持者の健康管理のため、毎年2回の定期健康診断及び希望者に対するがん検診を実施しました。

また、同法に基づく各種手当を対象者に支給しました。

#### (1) 定期健康診断実施状況

平成19年度

	手帳交付数	受診者数	
		第1回	第2回
熊野市	6	5	4
御浜町	1	1	0
紀宝町	1	1	1
計	8	7	5

#### (2) がん検診状況

平成19年度

	胃がん	肺がん	乳がん	子宮がん	大腸がん	多発性骨髄腫
受診者数	0	0	0	0	0	0

#### (3) 各種手当受給状況

平成19年度

	健康管理手当	保健手当(定額)	家族介護手当	葬祭料
熊野市	3	0	0	0
御浜町	1	0	0	1
紀宝町	1	0	0	0
計	5	0	0	1

## 2 難病対策事業

原因不明の疾患(難病)に対して、国において原因究明、治療研究を行い、うち45疾患(平成20年3月末現在)について医療費の補助を行い、医療費の軽減と治療の促進を図りました。

平成20年3月末現在

病名	熊野市	御浜町	紀宝町	計
1. ベーチェット病	4	0	2	6
2. 多発性硬化症	1	0	1	2
3. 重症筋無力症	2	1	0	3
4. 全身性エリテマトーデス	7	3	3	13
5. スモン	1	0	0	1
6. 再生不良性貧血	1	1	1	3
7. サルコイドーシス	3	3	1	7
8. 筋萎縮性側索硬化症	2	0	2	4
9. 強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	9	2	8	19
10. 特発性血小板減少性紫斑病	7	4	0	11
11. 結節性動脈周囲炎	1	1	0	2
12. 潰瘍性大腸炎	14	4	6	24
13. 大動脈炎症候群	3	0	0	3
14. ビュルガー病	4	1	0	5
15. 天泡瘡	1	0	1	2
16. 脊髄小脳変性症	4	4	1	9
17. クロウン病	1	1	2	4
18. 難治性の肝炎のうちの劇症肝炎	0	0	0	0
19. 悪性関節リウマチ	0	0	1	1
20. パーキンソン病関連疾患	32	12	24	68
21. アミロイドーシス	0	0	0	0
22. 後縦靭帯骨化症	7	6	3	16
23. ハンチントン病	0	0	0	0
24. モヤモヤ病	2	0	2	4
25. ウェゲナー肉芽腫症	0	1	1	2
26. 特発性拡張型心筋症	2	4	4	10
27. 多系統萎縮症	2	2	1	5
28. 表皮水疱症	0	0	0	0
29. 膿疱性乾癬	0	0	0	0
30. 広範脊柱管狭窄症	1	0	0	1
31. 原発性胆汁性肝硬変	2	1	1	4
32. 重症急性膵炎	0	0	0	0
33. 特発性大腿骨頭壊死症	1	0	0	1
34. 混合性結合組織病	3	1	1	5
35. 原発性免疫不全症候群	0	0	0	0
36. 特発性間質性肺炎	0	0	0	0
37. 網膜色素変性症	5	7	3	15
38. プリオン病	0	0	0	0
39. 原発性肺高血圧症	0	0	0	0
40. 神経線維腫症	0	1	0	1
41. 亜急性硬化性全脳炎	0	0	0	0
42. バット・キアリ症候群	0	0	0	0
43. 特発性慢性肺血栓栓症	1	0	0	1
44. ライソゾーム病(ファブリー病含む)	0	0	0	0
45. 副腎白質ジストロフィー	0	0	0	0
合計	123	60	69	252



### 3 難病在宅ケア事業

#### (1) 事業の目的

特定疾患患者及びその家族が地域で安心して生活が送れるように、保健・医療・福祉が一体となった在宅ケアシステムづくりを目指します。

#### (2) 対象者

熊野保健福祉事務所管内の難病患者とその家族

#### (3) 事業実施内容

##### (ア) 在宅療養支援計画策定・評価事業

疾患系	支援計画策定件数	支援計画評価数	備考
膠原系			
消化器系			
神経系	3	3	
血液系			
循環器系			
計	3	3	

##### 関係機関連絡会議

開催年月日	平成19年4月5日(木)
関係機関名	本人及び妻 病院(神経内科医師) 市包括支援センター(ケアマネージャー) 訪問看護ステーションほほえみ(看護師) 2名(うち1名はケアマネージャー) 熊野保健福祉事務所(保健師)
検討内容及び課題	1 内容:調整会議 2 結果 医療機関及び専門医が変更されたことに伴う連絡調整を行った。

##### 関係機関連絡会議(訪問リハビリ同時実施)

開催年月日	平成20年2月7日(木)
関係機関名	本人・妻 病院(理学療法士) 訪問看護ステーションほほえみ(ケアマネージャー) 市(保健師) 熊野保健福祉事務所(保健師)

検討内容及び課題	1 内容：調整会議 2 課題 在宅生活における困り事に、具体的に対応。 今後、状態悪化が予測されることから、必要時にケア会議を開催し、関係者間の意思統一及び連携を強化する。
----------	---

関係機関連絡調整

開催年月日	平成20年3月21日（金）
関係機関名	家族（3名） 紀南病院（主治医、病棟看護師3名、MSW） ケアマネージャー、訪問看護師、訪問入浴担当者、ヘルパー 熊野保健福祉事務所（保健師）
検討内容及び課題	1 内容：退院に向けての連絡調整 2 課題 人工呼吸器装着など医療ニーズの高いケースが退院するため、関係者間の調整が必要となる。 定期的な訪問や関係者間連携により、在宅ケア体制の整備を行う必要がある。

(イ) 医療相談事業（地域難病相談会）

相談 班数	回数	延人員	実人員	相談班延従事人数						
				医師	看護師	保健師	栄養士	患者会	センター	計
1	1 (尾鷲 庁舎)	10	10	2		5 (熊野 保健福 祉事務 所 2名 含む)		10	2	19

対 象 者	疾患名	対象者数	
		本人及び家族	計
	難病全般	10	10
相 談 内 容	病気・病状に関すること 治療・服薬に関すること 看護・日常生活に関すること 福祉制度に関すること その他	投薬による体質変化について 1件 ステロイド剤の使用方法について 1件 緊急時対応をしてくれる医療機関がないこと の不安 1件 家族の疾患に関する不安 1件	

(ウ) 訪問相談事業

疾患系		計画回数	延人数	実人員	備考
膠原系					
消化器系					
神経系	A L S	10	4	2	
血液系					
循環器系					
計		10	4	2	

## 34107 医療分野の人材確保

(主担当:保健衛生室 健康増進課 )

(主担当:福祉相談室 企画課 )

### 取組内容

1. 県民の要望に応えられる資質の高い保健福祉職員を養成することを目的に、今日的課題に対応するため、地域特性に基づいた実務者研修会を実施します。
2. 看護、栄養業務に従事しようとする学生に対して保健福祉事務所(保健所等)実習指導を実施します。
3. 医療機関の看護職員の不足解消を図るため、一日看護体験を実施します。

### 1 保健師活動状況

管内保健師状況

平成20年4月1日現在

市町名 区分	熊野市	御浜町	紀宝町	保健福祉事務所	管内 合計
人 員	10	4	7	4	25

### 2 看護学生等保健所実習指導

#### (1) 看護学生実習

学 校 名	学 生 数	グループ数	実習日数
三重大学医学部看護学科	4名	1	10日

#### (2) 管理栄養士実習

学 校 名	学 生 数	グループ数	実習日数
鈴鹿医療科学大学	4名	1	5日

### 3 1日看護体験

開催日：平成19年8月3日(金)

開催場所：紀南病院

参加人数：高校生 11名

## 342 生活保障の確保

### 34201 公的扶助の適正な運用

(主担当:福祉相談室 福祉課)

#### 取組内容

1. 被保護世帯に対し、「生活保護法」に基づく最低限度の生活を保障するとともに、その自立を助長するため、生活保護の適正な運用と実態に応じた処遇、助言等を行います。

#### 1 生活保護

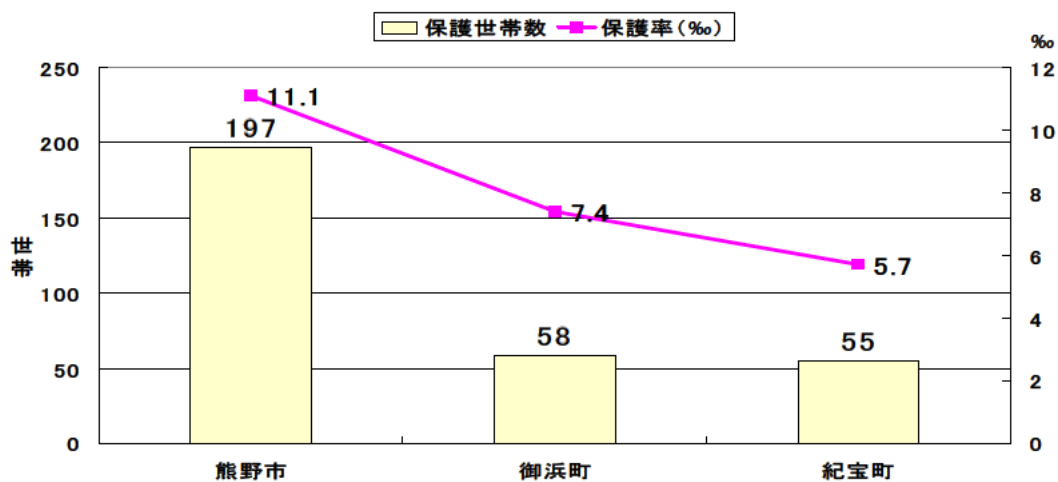
生活保護法（昭和25.5.4法律第144号）に基づき、生活に困窮するすべての国民に対して、その困窮の程度に応じて、必要な保護を行い、最低限度の生活を保障するとともに、その自立を助長することを目的とします。

(1) 保護の状況（熊野市・南牟婁郡）

平成20年3月末現在

市町名	保護人員	保護世帯数	保護率(%)
熊野市	231	197	11.1
南牟婁郡	145	113	6.5
御浜町	73	58	7.4
紀宝町	72	55	5.7
紀南地域全体	376	310	8.8

保護の状況（熊野市・南牟婁郡）



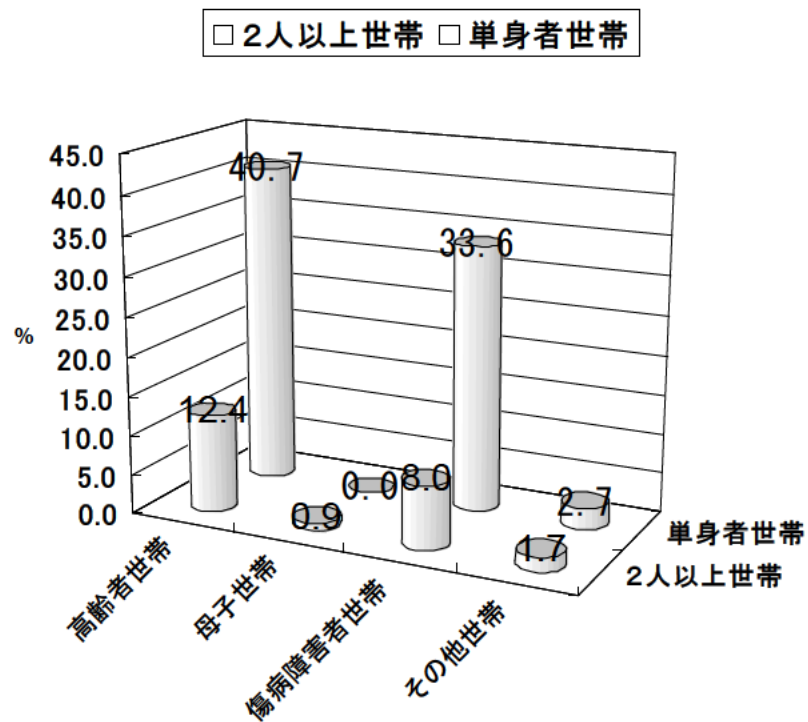
(2) 世帯類型別保護世帯数

【南牟婁郡】

平成20年3月末現在

世帯区分	単身世帯		2人以上世帯		計	
	世帯数	構成比 (%)	世帯数	構成比 (%)	世帯数	構成比
高齢者世帯	46	40.7	14	12.4	60	53.1
母子世帯			1	0.9	1	0.9
傷病障害者世帯	38	33.6	9	8.0	47	41.6
その他世帯	3	2.7	2	1.7	5	4.4
合計	87	77.0	26	22.9	113	100.0

世帯類型別保護世帯数(南牟婁郡)



(3) 保護開始、廃止の原因別状況（熊野市、南牟婁郡）

①開始

平成19年度

原因	南牟婁郡		熊野市		合計	
	世帯数	構成比 (%)	世帯数	構成比 (%)	世帯数	構成比 (%)
世帯主の傷病	15	71.4	10	37.0	25	52.1
世帯員の傷病	1	4.8	1	3.7	2	4.2
稼働者の死亡・離別	0	0.0	0	0.0	0	0.0
稼働収入の減少	1	4.8	4	14.8	5	10.4
年金・仕送り・預貯金の減少	3	14.3	11	40.7	14	29.2
その他（転入、DVなど）	1	4.8	1	3.7	2	4.2
計	21	100.0	27	100.0	48	100.0

②廃止

平成19年度

原因	南牟婁郡		熊野市		合計	
	世帯数	構成比 (%)	世帯数	構成比 (%)	世帯数	構成比 (%)
世帯主の傷病治癒	0	0.0	3	7.5	3	6.4
世帯員の傷病治癒	0	0.0	0	0.0	0	0.0
死亡・失踪	6	85.7	10	25.0	16	34.0
稼働収入の増加	0	0.0	8	20.0	8	17.0
年金・仕送りの増加	0	0.0	9	22.5	9	19.1
施設入所	1	14.3	4	10.0	5	10.6
その他（転出など）	0	0.0	6	15.0	6	12.8
計	7	100.0	40	100.0	47	100.0

### 343 高齢者保健福祉の推進

#### 34301 介護保険制度の円滑な運営

(主担当:福祉相談室 福祉課)

##### 取組内容

1. 介護事業者に対する指定申請の受理および指導を実施します。
2. 介護サービスに対する苦情処理を適切に行い、不服申し立てがあれば、迅速に介護保険審査会を開催します。

#### 1 介護保険制度

介護保険制度は、平成9年12月に介護保険法が成立し、平成11年10月から要介護認定が開始され、平成12年4月から本格実施されました。

介護保険制度は、(1)老後を安心して介護が受けられ、社会全体で支える仕組みを創設するものである。(2)また、利用者本位の良質な介護サービスを医療、保健、福祉の総合的、一体的かつ効率的に提供するものである。

(3)さらに、介護を医療保険から切り離し、社会保障構造改革の第一歩となる制度です。

平成18年4月に制度改正が行われ、新予防給付の創設、地域支援事業の創設など、介護予防重視型システムへの転換が図られました。

##### (1) 要介護認定者の状況

平成20年3月末現在

区分	要支援1	要支援2	経過的要介護	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
熊野市	330	314	0	148	270	239	159	149	1,609
	20.5%	19.5%	0.0%	9.2%	16.8%	14.9%	9.9%	9.3%	100.0%
御浜町	61	99	0	62	102	118	92	65	599
	10.2%	16.5%	0.0%	10.4%	17.0%	19.7%	15.4%	10.9%	100.0%
紀宝町	105	120	0	75	114	95	64	59	632
	16.6%	19.0%	0.0%	11.9%	18.0%	15.0%	10.1%	9.3%	100.0%
計	496	533	0	285	486	452	315	273	2,840
	17.5%	18.8%	0.0%	10.0%	17.1%	15.9%	11.1%	9.6%	100.0%
三重県	7,523	11,069	0	12,890	13,777	12,187	9,673	7,521	74,640
	10.1%	14.8%	0.0%	17.3%	18.5%	16.3%	13.0%	10.1%	100.0%
全国	548,826	605,713	10,336	799,000	787,809	686,432	565,977	503,912	4,508,005
	12.2%	13.4%	0.2%	17.7%	17.5%	15.2%	12.6%	11.2%	100.0%

\* 「全国」の状況については平成19年11月末現在



## (2) 介護度別居宅サービスの受給者数

平成20年3月分

区 分	要支援1	要支援2	経過的要 介護	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
管内	330	361	0	229	379	293	147	97	1,836
三重県	3,273	5,899	-4	8,700	9,610	7,345	4,509	2,514	41,846

## (3) 施設種類サービスの受給者数

平成20年3月分

区 分	介護老人福祉施設	介護老人保健施設	介護療養型医療施設	計
管内	249	202	40	491
三重県	6,248	5,418	1,284	12,950

## (4) 指定居宅・施設介護支援事業所数

区 分	事業者数	備 考
指定居宅介護支援事業所	21	
指定介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム)	4	230床
介護老人保健施設 (老人保健施設)	2	198床
介護療養型医療施設 (療養型病床群)	1	15床

## (5) 介護保険審査会

要介護認定に関する審査請求については、介護保険審査会の公益代表委員3名からなる合議体において審理され、裁決が行われます。

## 34302 介護基盤の整備促進とサービスの質の向上

(主担当:福祉相談室 福祉課)

### 取組内容

1. 「三重県高齢者保健福祉計画」・「第3期三重県介護保険事業支援計画」に基づき、年度別に地域の実情を勘案し、介護保険施設や介護老人福祉施設等の施設整備を的確に行っていきます。

#### 1 老人福祉施設等の状況

平成20年4月1日現在

	養護老人ホーム (特定施設入居者生活介護)	特別養護老人ホーム	老人福祉センター	生活支援ハウス	デイサービスセンター	老人憩の家	介護老人保健施設	介護療養型医療施設	訪問看護ステーション	老人性認知症センター	認知症対応型共同生活介護
熊野市		2		1	8		1		1	1	1
御浜町	1	1			5	5	1	1	1		2
紀宝町		1	2		5	3			1		1
計	1	4	2	1	18	8	2	1	3	1	4

老人福祉施設等

平成20年4月1日現在

	施設名	市町名	定員
養護老人ホーム(特定施設入居者生活介護)	松濤園	御浜町	50
特別養護老人ホーム	たちばな園	熊野市	50
	ケアホーム熊南	熊野市	50
	エイジハウス	御浜町	50
	宝寿園	紀宝町	80
老人福祉センター	紀宝町神内福祉センター	紀宝町	—
	紀宝町福祉センター	紀宝町	—
生活支援ハウス	熊野市高齢者生活福祉センター	熊野市	—
デイサービスセンター	熊社協井戸通所介護事業所	熊野市	—
	熊社協飛鳥・五郷通所介護事業所	熊野市	—
	宅老所 たんぼぼ	熊野市	—
	特定非営利活動法人 わたぼうし	熊野市	—
	NPO法人 よりあい	熊野市	—
	有限会社 みえ介護ステーション	熊野市	—
	デイサービス みやき	熊野市	—
	熊社協紀和通所介護事業所	熊野市	—
	御浜町デイサービスセンター	御浜町	—
	NPO法人 つどい	御浜町	—
	みはまデイサービスセンター	御浜町	—
	デイサービスセンター えいじはうす	御浜町	—
	御浜町社会福祉協議会・神木ほのぼの館	御浜町	—
	紀宝町社協デイサービス「神内事業所」	紀宝町	—
	宅老所 つどい	紀宝町	—
	デイサービス 楽らく	紀宝町	—
	デイサービス すいせんの家	紀宝町	—
ケアビレッジ 和	紀宝町	—	
老人憩の家	阿田和老人憩の家 養真荘	御浜町	—
	尾呂志老人憩の家 寿楽荘	御浜町	—
	上市木朗遊会憩の家	御浜町	—
	下市木老人憩の家	御浜町	—
	神木老人憩の家 福寿荘	御浜町	—
	高岡老人憩の家	紀宝町	—
	成川老人憩の家	紀宝町	—
紀宝町老人憩の家 讃寿荘	紀宝町	—	
介護老人保健施設	オレンジロードむつみ苑	熊野市	98
	きなん苑	御浜町	100
介護療養型医療施設	紀南病院	御浜町	15
訪問看護ステーション	紀南医師会訪問看護ステーション「ほほえみ」	熊野市	—
	NPO法人つどい	御浜町	—
	紀宝町社協訪問看護ステーション	紀宝町	—
老人性認知症センター	医療法人紀南会 熊野病院 老人性認知症センター	熊野市	—
認知症対応型共同生活介護	グループホームみやき	熊野市	9
	グループホームみつわ	御浜町	18
	グループホームひぐらし	御浜町	18
	グループホーム楽らく	紀宝町	18

## 344 障がい者保健福祉の推進

### 34401 障害者自立支援法制度の円滑な推進

(主担当:福祉相談室 福祉課)

#### 取組内容

2006年度から、障害者自立支援法が本格施行され障がい福祉制度が大きく変わりました。このことから、市町と協働で新制度の効率的な実施体制の整備を図ります。

#### 1 障がい者福祉

三重県障害者プランが平成15年3月に策定され、障がい者施策の推進に努めてきました。平成19年3月に三重県障害者プラン第4次行動計画・三重県障害者福祉計画第1期計画が策定されるとともに、第1期紀南地域障害者福祉事業実施プラン（障害福祉計画）が策定されました。18年10月から障害者自立支援法の本格導入など制度が大きく変わりました。市町やサービス事業者等を中心とした、地域障がい者福祉の施策や事業推進を図るため協働・支援していきます。

#### ア 身体障害者手帳所持者の状況

平成20年4月1日 現在

市町名	視覚障がい	聴覚障がい	音声言語障がい	肢体不自由	内部障がい	計	
熊野市	63	104	11	676	384	1,238	[50]
御浜町	44	51	2	252	133	482	[2]
紀宝町	38	67	6	416	190	708	[9]
計	145	222	19	1,344	707	2,428	[61]

[ ]内は児童再掲

#### イ 療育手帳所持者の状況

平成20年4月1日 現在

市町村名 \ 程度	A (最重度・重度)	B (中度・軽度)	計	
熊野市	95	79	174	[17]
御浜町	42	30	72	[12]
紀宝町	36	24	60	[10]
計	173	133	306	[39]

[ ]内は児童再掲

## 障がい者福祉施設

20年7月現在

施設の種類	施設名	市町村名	定員
身体障害者療護施設	ケアホーム熊南	熊野市	20
知的障害者更生施設	紀南ひかり園	熊野市	50
知的障害者授産施設	グリーンプラザ	熊野市	35
ケアホーム グループホーム (一体型)	若草	熊野市	4
	友輪	熊野市	4
	みんぐる	熊野市	4
障がい者小規模作業所	あゆみ作業所	熊野市	14
	南紀さんさんワーク	御浜町	14
	アプローチ	紀宝町	14
地域活動支援センター	熊野市社会福祉協議会(Ⅲ型)	熊野市	
	御浜町社会福祉協議会(Ⅲ型)	御浜町	
	紀宝町社会福祉協議会(Ⅳ型)	紀宝町	
精神障害者福祉ホームB型	熊野の里	熊野市	20
居宅介護事業所	熊社協井戸訪問介護事業所	熊野市	
	熊社協紀和訪問介護事業所	熊野市	
	NPO法人たんぽぽ	熊野市	
	NPO法人思いやり支援センターくまの	熊野市	
	介護センターみやき	熊野市	
	熊社協飛鳥訪問介護事業所	熊野市	
	訪問介護事業所ケアプランおかざき	熊野市	
	NPO法人つどい	御浜町	
	御浜町社会福祉協議会指定介護事業所	御浜町	
	訪問介護事業所であい	御浜町	
	紀宝町社協ホームヘルプサービス	紀宝町	

## 34404 精神障がい者の保健医療の確保

(主担当:保健衛生室 健康増進課)

取組内容
------

1. 地域精神保健福祉活動を推進するため、市町及び関係機関に対し専門的立場から技術指導及び技術支援を行います。
2. 2002年度(平成14年度)から精神障がい者の相談窓口が市町に移行されていますので、市町に対して援助を行います。
3. 精神障がい者の地域生活をサポートするためのネットワークづくりを行います。
4. 地域住民等に対し精神障がいの正しい知識を普及啓発します。

### 1 精神保健福祉事業

#### (1) 精神保健医療対策

##### ア. 精神保健措置事業

目 的 医療及び保護のために入院させなければ、精神障がいのために自身を傷つけ又は他人に害を及ぼす恐れのある精神障がい者を精神保健指定医の診察の結果により保護し、医療を受けさせ自傷他害の行為を防ぎます。

#### ① 精神保健福祉法に基づく申請、通報の受理・調査状況 平成19年4月～20年3月

区 分	要診察		診察不要	小計
	第29条 該当	第29条 非該当		
法23条 申請(注1)	0	0	0	0
法24条 通報(注2)	0	3	0	3
法25条 通報(注3)	0	1	0	1
法26条の2 届出(注4)	0	0	0	0
計	0	4	0	4
管外での第24条通報(参考)	0	0	0	0

(注1) 診察及び保護の申請 (注2) 警察官の通報 (注3) 検察官の通報 (注4) 精神病院管理者の届出

#### ② 取扱措置入院患者数

平成19年4月～20年3月

	男	女	計
第29条措置 新規	0	0	0
第29条措置 解除	0	0	0
第29条措置 在院者数 (平成20年3月末現在)	0	0	0

イ. 自立支援医療（精神通院医療）

目 的 精神疾患の治療のために指定医療機関に通院する人を対象に、その通院医療費の90%まで公費負担をします。

自立支援医療受給者証（精神通院医療）の有効期間：1年間

平成19年度末現在

	熊野市	御浜町	紀宝町	計
交付者数	224	93	73	390

(2) 精神障害者保健福祉手帳交付

目 的 精神障がい者の社会復帰の促進と自立、社会参加の促進を図ります。

精神障害者保健福祉手帳の有効期間：2年間

市町別等級別精神障害者保健福祉手帳交付状況

平成19年度末現在

		熊野市	御浜町	紀宝町	計
障害等級	1	11	1	3	15
	2	78	32	25	135
	3	11	3	7	21
計		100	36	35	171

(3) 障がい者地域生活推進事業

ア. 精神保健福祉相談

目 的 一般住民や精神障がい者、その家族のニーズに応じ、こころの健康づくりやこころの病気を早期発見し、適切な医療に繋げると共に、精神障がい者の地域生活の支援、社会復帰を促します。

相談の区分	精神科医師の相談	保健師の相談			
		家庭訪問	面 接		電話相談
開設状況	年2回	随時	毎月第4水曜日 13:00~16:00	随時	随時
相談延件数	4件	28件	0件	26件	400件

イ. 啓発活動・関係機関との連携等

1 啓発活動

①市町広報での相談等のPR

## 2 市町職員等関係職員への支援

### ①市町保健師等との同行訪問（受診勧奨等）

訪問延件数；6件（熊野市1件、御浜町4件、紀宝町1件）

訪問実件数；5件（熊野市1件、御浜町3件、紀宝町1件）

### ②事例への助言

市町関係者への助言延件数；26件

### ③紀宝町いきいき教室への支援

平成19年12月19日 参加者7名（内、精神障がい者1名）

平成20年2月6日 参加者7名（内、精神障がい者1名）

### ④事例検討会への支援

治療中断者への対応について支援 1回

## 3 関係機関との連携

### ① 医療機関、障がい者総合相談センターなどから連絡があった事例への対応

（延件数；14件）

### ②退院促進のための連絡調整会議（延件数；1件）

## ウ. 精神障がい者デイケア事業

目的 在宅精神障がい者の閉じこもりを防ぎ、社会復帰、社会参加を促すために、スポーツ、調理、創作活動等の体験や障がい者同士の交流を通して、対人関係等の日常生活訓練を行ないます。

	開催日	時間	実人員	延べ人数
オレンジ会	第1火曜日	9:30~14:30	2	9

## エ. 通院患者リハビリテーション事業

目的 通院治療中の精神障がい者を一定期間事業所に通わせ、集中力、対人能力、仕事に対する持久力、環境適応能力等の涵養を図るための社会適応訓練を行い、再発防止と社会的自立を促進します。

### 【管内の登録事業所】

事業所名	住所
シャロームビレッジ	南牟婁郡御浜町阿田和
南紀グリーンハウス	南牟婁郡御浜町上野
お菓子のいえ ナガシマ	熊野市有馬町
農業生産法人（有）御浜天地	南牟婁郡御浜町阿田和

平成19年度末現在 利用者 1名（御浜天地）





子ども食品衛生教室  
平成20年8月5日 紀宝町立鵜殿小学校

「食品衛生月間」街頭啓発

平成20年8月7日  
ジャスコ熊野店 前



保健福祉事務所年報(平成20年度版)

三重県熊野保健福祉事務所  
〒519-4324 熊野市井戸町383番地  
電話 0597-85-2158(代)  
URL <http://www.pref.mie.jp/KHOKEN/HP>  
E-mail [khoken@pref.mie.jp](mailto:khoken@pref.mie.jp)